



立山あおぐ特等席。富山市
2025 富山市勢要覧

TOYAMA CITY

Information 2025



立山あおぐ特等席。富山市

Contents

■ごあいさつ.....	1	富山市版スマートシティ.....	16	まちなか.....	28
■富山市のあゆみ.....	2	子育て日本一とやま.....	18	福祉・医療.....	29
■富山市の概要.....	3	SDGs未来都市とやま.....	20	教育.....	30
■都市の顔.....	4	富山市の主な受賞歴.....	21	産業.....	32
Vision of the Future.....	4	■富山市の特色ある施策.....	22	協働.....	34
Culture and Art.....	6	ゼロカーボンシティ.....	22	生活・防災.....	35
■とやまの歳事記[春夏秋冬].....	8	コンパクトシティ.....	24	■TOYAMAP.....	36
■TOYAMA TOPICS.....	16	ガラスの街.....	26	■資料編.....	38



ごあいさつ

富山市長

藤井 裕久

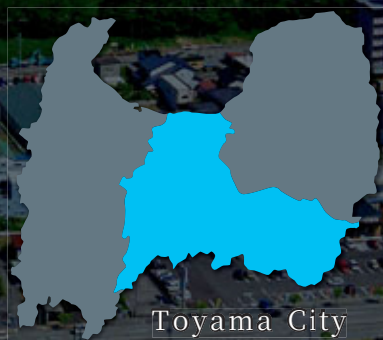


富山市は、水深1,000mの富山湾から標高3,000m級の北アルプス立山連峰まで、標高差4,000mの多様な地勢と雄大な自然を誇り、また、古くから「くすりのまち」として全国にその名が知られるように、薬業をはじめとする様々な産業と高度な都市機能、そして、多様な文化と歴史を併せ持つ日本海側有数の中核都市として発展を続けています。

本市では、これまで「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の中心に据え、誰からも「選ばれるまち」となるよう、雇用や教育、福祉、子育て、環境、文化など様々な施策を包括的に推進し、まちの総合力を高めてまいりました。近年は、コンパクトなまちづくりを深化させるとともに、デジタル技術の活用により、市民生活の質と利便性の向上を図る「スマートシティ政策」を推進することで、市域全体の均衡ある発展を目指しています。

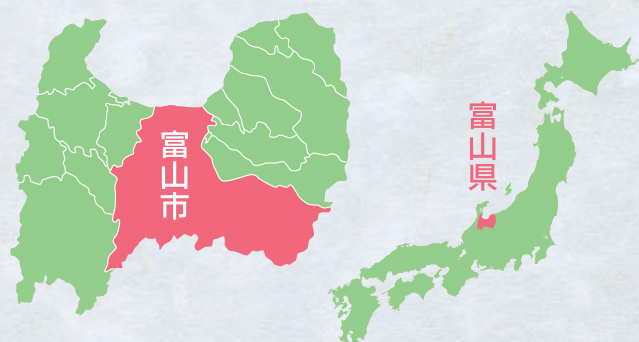
2025年は、2005年(平成17年)4月に旧富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村が合併し、新富山市が誕生してから、20周年という節目を迎えます。この先も、先人が築いてきた歴史や伝統、豊かな風土、地域の魅力を、このまちの誇りとして次の世代へとつなげられるよう、市民の皆様や企業の皆様とともに取り組んでまいります。

この市勢要覧は、現在の富山市の姿と、特色ある施策の一端を紹介するために編集いたしました。本要覧を通して本市の魅力を感じていただくとともに、さらなる市勢の発展にお力添えをいただければ幸いです。



西 暦	和 暦	おもなできごと	西 暦	和 暦	おもなできごと
1543	天文 12	神保長職(じんぼうながもと)により富山城築城	1984	59	ファミリーパーク開園
1580	天正 8	織田信長が佐々成政を越中に派遣	1985	60	富山外国語専門学校開校
1585	13	佐々成政が豊臣秀吉に降伏し、富山城を明け渡す	1986	61	「諏訪町本通り」日本の道100選に選定
1597	慶長 2	前田利長が守山城から富山城に移る	1987	62	市出身の利根川進博士がノーベル医学生理学賞を受賞
1609	14	富山大火で市街の大部分および富山城を焼失	1988	63	北陸自動車道全線開通
1639	寛永 16	加賀藩から富山藩10万石が分藩となる 初代藩主は前田利次	1989	平成 元	アメリカ合衆国・ノースカロライナ州 ダーラム市と姉妹都市提携
1671	寛文 11	神通川大洪水	1991	3	富山ガラス造形研究所開校
1689	元禄 2	このころ葉の紙袋に八尾紙が指定される	1992	4	現市庁舎完成
1690	3	富山売葉の興り	〃	〃	富山イノベーションパーク竣工
1702	15	おわらの町ねりがはじまる	〃	〃	オーストラリア連邦・ニューサウスウェールズ州 ウェリントンカウンシル (現在のダボ・リージョナル・カウンシル)と姉妹都市提携
1741	寛保 元	八尾曳山の興り	1993	5	富山ーソウル便就航
1781	天明 元	大久保用水完成	1994	6	富山ガラス工房開設
1858	安政 5	大地震のため大きな被害が出る	〃	〃	全国高等学校総合体育大会開催
1868	明治 元	大久保用水改修工事が完成	〃	〃	森家が国重要文化財に指定
1871	4	廃藩置県	1996	8	芸術文化ホール(オーバード・ホール)完成
1872	5	籠の渡しが廃止、飛騨との境に初めて橋が架けられる	〃	〃	「エンナカの水音とおわら風の盆」日本の音風景100選に選定
1889	22	大日本帝国憲法発布	1998	10	富山ー大連便就航
1891	24	神通川・常願寺川出水	〃	〃	富岩運河水閘施設(中島閘門)国重要文化財に指定
〃	〃	常願寺川第一次改修工事、オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケにより着手	1999	11	桐朋学園大学院大学開学
1899	32	北陸線、高岡ー富山間が開通し、富山駅が開業	〃	〃	富山市総合体育館竣工
〃	〃	富山電灯(株)大久保発電所が運転を開始(富山県初の水力発電所)	〃	〃	富山国際会議場完成
〃	〃	富山電灯(株)が電灯を架設	2000	12	とやま国体開催
1901	34	神通川越線線の工事着手	〃	〃	笹津橋が国の有形文化財に登録される
1913	大正 2	富山ー直江津間が開通し、北陸線が全線開通する	〃	〃	恐竜足跡露頭で肉食恐竜の歯化石発見
〃	〃	富山電気軌道開通(富山駅前ー現小泉町)	2002	14	市出身の田中耕一氏がノーベル化学賞受賞
1914	3	神通川・常願寺川出水	〃	〃	エコタウン事業開始
1921	10	立山軌道開通	2003	15	「富山型ディサービス推進特区」認定
1923	12	富山ー上滝間蒸気鉄道敷設	2005	17	富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村が合併し 新富山市誕生(4月)
1926	15	千里常楽寺十一面観音・聖観音像が国宝に指定	2006	18	JR富山港線廃線・富山ライトレール開業
1932	昭和 7	富山飛行場が開場(旧倉垣村)	2007	19	中心市街地活性化基本計画が国の第1号認定
1934	9	高山線全線開通(富山ー岐阜)	〃	〃	グランドプラザ・総曲輪フェリオオープン
〃	〃	富山ー東京間に定期航空路開通	2008	20	軌道運送高度化実施計画が国の第1号認定
1935	10	富岩運河完成	〃	〃	国の環境モデル都市に選定(全国6都市)
〃	〃	NHK富山放送局開局	2009	21	立山山麓スキー場周辺が、北陸初の森林セラピー基地に認定
1936	11	日満産業大博覧会開催	〃	〃	富岩水上ライン運航開始
1941	16	太平洋戦争	〃	〃	市内電車環状線「セントラム」が開業
〃	〃	笹津橋竣工	2010	22	自転車市民共同利用システム「アヴィレ」が運用開始
1945	20	富山大空襲	2011	23	角川介護予防センターオープン
1946	21	日本国憲法発布	〃	〃	環境未来都市に選定(全国11都市)
〃	〃	市民病院開院	2012	24	OECD報告書でコンパクトシティ先進都市として紹介される
1949	24	富山大学開学	〃	〃	新富山大橋供用開始
1951	26	市営競輪場開設	2014	26	国際連合SE4Allから全国初のエネルギー効率改善都市に選定
1953	28	総曲輪通りに初のアーケードが完成	2015	27	北陸新幹線開業
1954	29	富山産業大博覧会開催	〃	〃	路面電車が新幹線高架下に乗入れ開始
1955	30	桜まつり 第1回全国チンドンコンクール開催	〃	〃	ガラス美術館開館
1958	33	第13回国民体育大会開催	〃	〃	市ゆかりの梶田隆章氏がノーベル物理学賞受賞
1961	36	第1回富山まつり開催	〃	〃	G7富山環境大臣会合及びパラレルセッションの開催
1962	37	有峰ダム完工	〃	〃	ユウタウン総曲輪オープン
1963	38	三八豪雪	〃	〃	レジリエント・シティサミットの開催
〃	〃	富山・高岡地区新産業都市に指定	2017	29	総曲輪レガートスクエアオープン
〃	〃	富山空港開港	2018	30	富山広域連携中枢都市圏連携協約締結
1968	43	イタイイタイ病訴訟	〃	〃	「SDGs未来都市」、「SDGsモデル事業」選定
1971	46	立山黒部アルペンルート全線開通	〃	〃	市ゆかりの本庶佑氏がノーベル生理学・医学賞受賞
1974	49	国道8号富山高岡バイパス全線開通	2019	31	富山まちなか病院開院
1976	51	国民体育大会スキー競技開催	2020	令和 2	路面電車南北接続事業が完成
1977	52	富山企業団地完成	〃	〃	Sketch Lab(スケッチラボ)オープン
1979	54	ブラジル連邦共和国・サンパウロ州 モジ・ダス・クルーゼス市と 姉妹都市提携	2021	3	「ゼロカーボンシティ」の表明
1981	56	五六豪雪	〃	〃	都市計画道路富山駅南北線の供用開始
〃	〃	中華人民共和国・河北省 秦皇島市と友好都市締結	2023	5	大沢野会館、大山会館、 芸術文化ホール(オーバード・ホール/中ホール)開館
〃	〃	全国高等学校総合体育大会開催	〃	〃	G7富山・金沢教育大臣会合の開催
1983	58	市民病院新築移転			

● 富山市の位置



【概要】

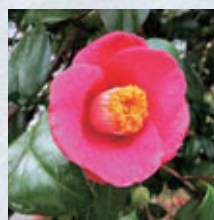
総面積……………1,241.70km²(県庁所在地では2番目の広さ)
 人口……………413,938人(2020年国勢調査<確定値>)
 世帯数……………171,917世帯(2020年国勢調査<確定値>)
 特徴……………海拔0mの富山湾から標高2,986mの水晶岳(黒岳)
 一級河川 常願寺川 市域流路延長:約56km
 神通川 市域流路延長:約46km

● 富山市の木、花木、草花

富山市では平成21年5月に市の木、花木、草花を制定し、緑化のシンボルとしています。



〔富山市の木〕
ケヤキ



〔富山市の花木〕
ツバキ



〔富山市の草花〕
ヒマワリ



1

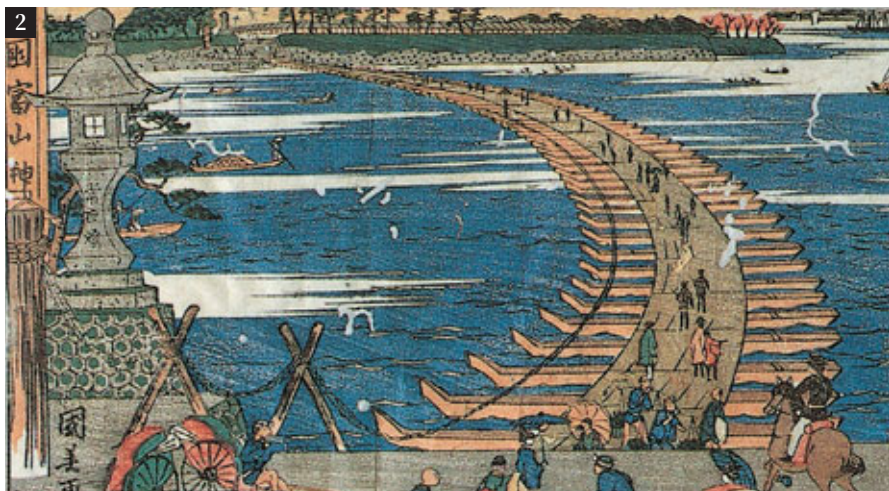
1 富山城

城址公園にある城下町のシンボル富山城。

2 神通川の舟橋

西暦1600年頃、富山の城下町を流れる神通川の橋として、両岸に柱を立て、太い鎖を渡し、それに多数の舟をつなぎ、舟の上に板を渡して人馬を通した。鎖の中央には碇をつけて川底に固定し、大水のときには鎖を外して橋を撤去して流失を防いだ。江戸時代、日本一の舟橋として全国に知られた。

2



3



4

3 富山の売薬

「売薬さん」の名で親しまれる薬の行商人は、家庭に薬を置いてもらい、使用分の代金を後で回収する先用後利という仕組みをつくり上げた。現在も、多くの「売薬さん」が全国で活躍中。

4 呉羽山の展望台

標高約70mの山頂付近に位置する展望台では、立山連峰が一望でき、その絶景を撮影しようと、多くのカメラマンで賑わう。市のキャッチフレーズ「立山あおぐ特等席。富山市」の象徴的な景観。

5 松川

市内中心部を流れる松川。4月初旬には、両岸が桜一色に染まる。

未来へつなぐコンパクトなまちづくり。

北陸新幹線の開業、路面電車の南北接続事業完成により、富山駅の交通結節機能が大幅に強化され、公共交通の利便性が向上しました。超高齢・人口減少社会を見据え、過度に車に頼らない公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進します。



Vision of the Future



1 富山駅

北陸新幹線の開業に合わせて整備された県都富山市の玄関口、富山駅。令和2年3月には富山駅南北の路面電車がつながり交通結節機能が大幅に向上。まちの賑わいの創出につながっています。

2 北陸新幹線

首都圏とのアクセスが飛躍的に向上し、人の往来も活発になり、地方都市の魅力アップに大きな期待がかけられています。

3 富山駅周辺

南北自由通路や駅前広場の完成など駅周辺整備工事が順調に行われるとともに、ホテルや商業施設の新規開業も相次ぐなど、富山駅周辺エリアへの期待は一層高まっています。

4 グランドプラザ

ガラスの大屋根や大型ビジョン、昇降式ステージなどを備える全天候型の多目的広場。年間を通して様々なイベントが開催されており、多様な人々が集い、賑わい、文化を発信する拠点となっています。



5 AMAZING TOYAMA

(アメイジングトヤマ)

市民一人ひとりが「わがまち」に対して愛着や誇りを抱く「シビックプライド」を醸成することを目的に、平成26年5月から開始した「AMAZING TOYAMA」プロジェクト。その象徴として城址公園や富山駅前にもニュメントを設置しています。

6 総曲輪レガートスクエア

旧総曲輪小学校跡地を活用し、まちなかでの生活の質の向上と賑わいの創出を図るため、お迎え型病児保育や訪問診療などを行う「まちなか総合ケアセンター」を中心に、健康をテーマとした民間施設を公民連携事業により整備しました。



7 ユウタウン総曲輪

シネマコンプレックス、立ち寄り湯のある宿泊施設、全天候型賑わい広場「ウエストプラザ」、480台収容の立体駐車場を備え、ゆとりのある時間が楽しめる再開発ビル。市内電車環状線化事業により、まちなかへのアクセスも向上し、中心市街地の魅力がさらに高まっています。

8 自転車市民共同利用システム

「アヴィレ」・市内中心部案内図
オシャレな自転車でまちなかを行き来できます。市内中心部案内図を「アヴィレ」のステーションや中心市街地の交差点付近に設置しています。

9 バナーフラッグ・ハンギングバスケット

まちなかのシンボルロードの城址大通りと市内電車環状線沿線などをバナーフラッグ(垂れ幕)とハンギングバスケット(花かご)が彩ります。

10 広告付きバス停

洗練されたデザインが目を引く路線バスの停留所。市が補助金を出して整備し、広告収入によって民間事業者により管理されています。

文化と芸術が融合するまち。

富山市には、伝統文化や歴史的景観、いきいきとしたイベントなど多彩な要素があり、また、芸術に触れることのできる施設が充実しています。それらが融合され、新たな都市の顔となっています。



中ホール 1



大ホール 1



2



3

1 富山市芸術文化ホール

(オーバード・ホール/大ホール・中ホール)
大ホールは、客席数最大約2200席、可動式三面半舞台などが整い、多数の舞台芸術・コンサートなどが行われています。

令和5年7月には、最大652席の可動式客席を備える中ホールが開館。隣接する大ホールとの一体的な利用など、多目的な用途に対応した施設です。

<https://www.aubade.or.jp/>



2 「TOYAMAキラリ」ビル

(ガラス美術館・図書館本館)

平成27年8月、富山市の中心市街地に、複合施設TOYAMAキラリが整備されました。その中に芸術文化の新しい発信拠点として「富山市ガラス美術館」と「富山市立図書館本館」が開館し、新たなまちなかの賑わいを創出しています。

美術館 <https://toyama-glass-art-museum.jp/>

図書館 <https://www.library.toyama.toyama.jp/>

美術館



図書館



3 富山市民芸術創造センター

富山市民芸術創造センターは、音楽、演劇、日舞、洋舞、ダンス、美術などの活動をされている個人やグループのための創作・練習施設です。

<https://www.geisou-toyama.jp/>



4 越中八尾おわら風の盆

「越中八尾おわら風の盆」は、富山市を代表する民謡行事で、哀調を帯びた音色と優美な踊りで全国に知られています。

<https://owara-gyoujiuneei.com/>



5 越中八尾曳山祭

坂の町八尾で270年余の歴史をもった二層人形屋台6基が法被姿の若者たちによって曳き回されます。

6 八尾の街並み

古くは和紙、養蚕で栄えた八尾。往時をしのぶ街並みは、日本の道100選にも選ばれています。

7 富岩運河環水公園

とやま都市MIRAI計画のシンボルとして整備された面積9.7haの親水文化公園。運河クルーズ「富岩水上ライン」に乗って景色を楽しんだり、自然観察や運河の仕組み、歴史を学ぶことができます。

<https://fugan-suijo-line.jp/>



8 富山市ストリートスポーツパーク (NiXストリートスポーツパーク)

平成26年5月にオープンした、スケート・ダンス・ボルダリングゾーンを内包する全国最大規模の複合系ストリートスポーツパークです。エリア分けにより初級者も中上級者も安全に楽しめます。

<https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/nixs-sports-academy/index.html>



9 富山市まちなか観光案内所

富山市まちなか観光案内所では兜や陣羽織をはじめ、本格的な甲冑の着付け体験ができます。イベント時には乗馬やエサやり体験もできます。

<https://www.toyamashi-kankoukyoukai.jp/?tid=101590>



10 富山ガラス工房 第2工房

“ガラスの街”富山市。ガラス作家の人材育成やガラス作品の制作拠点となるグラス・アート・ヒルズに平成24年にオープンした富山ガラス工房第2工房。体験設備や観覧席を充実させ、多くの市民の体験・見学に利用されています。

<https://toyama-garasukobo.jp/>





▲全日本チンドンコンクール

全国のプロのチンドンマンが、その技とアイデアを競う全国唯一のコンクールです。松川べりの桜が咲き誇る中、ど派手な衣装に太鼓や三味線などが鳴り響くチンドンパフォーマンスが楽しめます。

<https://www.ccis-toyama.or.jp/toyama/cin/top.html>



◀雪の大谷

富山市は、立山黒部アルペンルートの玄関口。立山黒部アルペンルートの全線が開通する4月、通称「雪の大谷」と呼ばれる区間では、高さ20mに迫る雪の壁の中を見上げながら歩くことができます。



▲岩瀬曳山車祭

「けんか山車」という異名でも親しまれる歴史と伝統ある祭り。昼は、勇壮に町を練り歩き、夜には、「曳き合い」と呼ばれる山車同士のぶつかり合いが行われます。

富山の恵み



●ます寿し

富山産コシヒカリと桃色のサクラマスや鯛を笹で包んだ押し寿司で富山を代表する名産品です。享保2年、富山藩士が藩主に献上、さらに8代将軍徳川吉宗に献上して絶賛を受けたのが起源とされています。市内のます寿し店では、それぞれの店に伝わる伝統の味を守っています。



●シロエビ

富山湾に春の訪れを告げるシロエビ。透き通った美しい姿から「富山湾の宝石」と呼ばれています。身は、やわらかく上品な甘みが口の中に広がります。



●山菜

格別な風味の山菜は、豊かな自然がくれた贈り物。すすたけ、こごみ、タラノメなど中山間地域で採れる名物です。



●ホタルイカ

幻想的な光を放ちながら、群れをなして浮遊する「富山湾の神秘」ホタルイカ。旬の食材として富山の春に欠かせない味覚のひとつです。

春の歳事記

4月上旬
全日本チンドンコンクール

5月17日・18日
岩瀬曳山車祭

5月下旬
猿倉山フェスティバル

5月3日
越中八尾曳山祭

5月下旬
売比河鵜飼祭

5月31日～6月2日
日枝神社大祭



富山の四季

春

Spring

響きあう、息吹きの鼓動。

●松川の桜

平成2年に桜の名所100選に選定された松川の桜は、お花見シーズンには、たくさんの人で賑わいます。また、遊覧船も運航されており、水上から兩岸の桜並木を眺めることができます。



▲立山山麓トレッキングコース

初心者から上級者まで利用できる様々なトレッキングコースを整備。富山平野を見下ろす眺望やマイナスイオンたっぷりの森林浴、野鳥観察などを楽しめます。

<https://www.tateyama36.co.jp/>



◀越中の稚児舞(熊野神社)

8月25日に、神社拝殿前の仮設舞台で奉納されます。8～9歳の男子が「鉦の舞」など7つの舞を演じます。宝永元年(1704年)に、村に病気が流行し、それを治めようとして奉納したのが始まりといわれています。



▲岩瀬浜海水浴場

富山の恵み



●アユ

富山湾から遡上する天然のアユの味わいは、富山の速い川の流れにより身が引き締まり絶品と言われています。また、市内を流れる神通川では、アユ釣りのシーズンになると毛針釣りや友釣りをを行う人で賑わいを見せています。



●八尾和紙

コウゾの木から作られる、強くて美しい八尾和紙。元禄年間、富山藩の売薬の奨励とともに、薬袋紙の需要が八尾に集中したことが始まりです。江戸時代から続く染色技法は、今も受け継がれています。



●細工かまぼこ

富山の細工かまぼこは、昔からお祝いの品にかかせないもので、結納や結婚式の引出物として喜ばれています。



●昆布メ

魚の保存方法の一つとして古くから親しまれている郷土料理です。昆布の旨味が魚に移り、普通の刺身とは違った深い味わいです。

夏の歳事記

7月下旬

水橋橋まつり

8月25日

熊野神社の稚児舞



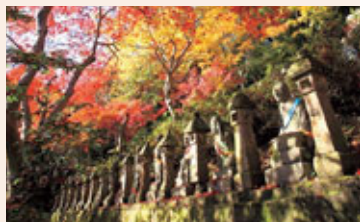
夏

Summer

空と森に、心解き放つ。

● 割山森林公園 天湖森
(てんこもり)

令和6年にリニューアルした
細入地域にあるアウトドア
施設。グランピングやソロキ
ャンプなど多様なキャンプ
スタイルに対応し、大自然の
中でバーベキューや釣り、パ
ークゴルフが楽しめます。



▲五百羅漢(長慶寺)

呉羽山にある長慶寺境内に整然と並ぶ五百羅漢は江戸時代、50年の歳月をかけて作られたもの。すべて違う表情や仕草をしており、訪れる人の心を和ませています。秋は紅葉スポットとして人気があります。(紅葉時期:11月中旬)



◀とやまスローライフ・フィールド
丘陵地に広がる畑地帯で、遠くは立山連峰や富山湾までの素晴らしい景色の中に、各種講座が開かれる交流施設を備えた全241区画の市民農園です。日常生活から切り離され、ゆったりとした時間のなかで、野菜作りや収穫体験などを楽しめます。

<https://www.satoyama-club.org/siminnouen/>



▼収穫体験の様子



富山の恵み



●呉羽梨

呉羽丘陵を中心に栽培されている良質な梨。果汁たっぷりで甘みも強いのが特長です。



●コシヒカリ

米どころ富山の象徴ともいえるコシヒカリ。首都圏等都会でもおいしいと好評です。



●池多りんご・山田りんご

樹上で完熟させることから、糖度が高く、果汁が多いと評判です。



●とろろ昆布

富山市は、昆布の支出金額日本一。昆布は、鍋物や煮物のほか、刺身や山菜の昆布酢、とろろ昆布のおにぎりなど多くの料理に使用され、富山の食に欠かせない食材です。

秋の歳事記

9月1日～3日

越中八尾おわら風の盆

9月中旬

LIVING ART in TOYAMA

9月下旬

富山まつり

10月中旬

トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル



富山の四季

秋

Autumn

おもい結んで、実る夢。

●越中八尾おわら風の盆
江戸時代にはじまったといわれ300余年の歴史がある「おわら」。9月1日から3日間開催される「越中八尾おわら風の盆」では、ぼんぼりのともる坂の町で、揃いの浴衣、法被に編み笠を被った踊り手が、唄、囃し、三味線、胡弓、太鼓の音色にあわせ風情豊かに踊ります。



◀エコリンク

グランドプラザの冬の風物詩「エコリンク」。カップルや家族連れが気軽にスケートを楽しめます。特殊な樹脂を使用しているため氷を張るための電気が不要で、運営費を大幅に削減できます。

▼とやまスノーピアード

富山駅周辺に設置された光のオブジェが、幻想的な光の空間を演出します。また、城址大通りのLED樹木イルミネーションは、あたたかな光で行き交う人々をロマンティックな気分にさせてくれます。



富山の恵み



●寒ブリ

富山湾の冬の王者といわれるブリ。初冬、富山湾では「ブリ起こし」と呼ばれる雷鳴とともに、ブリ漁の最盛期が始まります。1年で最も脂がのり、身が締まったブリは刺身や照焼きはもちろん、ブリ大根やしゃぶしゃぶなどにしても、その美味しさを堪能できます。



●ズワイガニ

暗赤色が、高級感を漂わせるズワイガニ。身肉はしっとりとして甘く、旨味が強いのが特徴です。特に味噌の味は絶品。茹であげ、刺身などにして食されています。



●酒蔵と地酒

北アルプスの雪解け水と優れた酒米を使用した富山の地酒は、さわやかで、香りが高く、全国で人気があります。



●啓翁桜

真冬に出荷される啓翁桜は、山田地域の特産品として知られる生け花用切り枝。平成7年から本格的に栽培がスタートして以来、全国各地の家庭にひと足早い春を届け続けています。

冬の歳事記

12月上旬～1月下旬
とやまスノーピアード

12月下旬
牛岳温泉スキー場開き

2月中旬
越中八尾冬浪漫(隔年開催)

12月中旬
立山山麓スキー場開き

2月上旬
牛岳スノーフェスタ



冬

Winter

恵みさまざま、寒に咲く。



●立山山麓スキー場

らいちょうバレーと極楽坂からなる立山山麓スキー場。リフトで山頂へ降り立つと、雪を頂く雄大な立山連峰と富山平野の大パノラマを眺めながら滑走することができます。



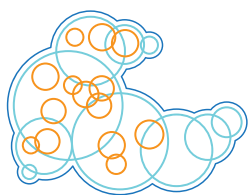
さまざまに咲く、
未来への歩み。

誰もが暮らしやすく、
それぞれが輝けるまちへ。
これまでの取り組みが、さまざまに花咲き、
実を結んでいます。

富山市版スマートシティが 目指す未来

まちの「しんか」

できる、ひろがる、デジタル



Smart City TOYAMA

富山市では、スマートシティ施策で
目指す未来を産学官民が共有し、行動
するための指針として「富山市スマー
トシティ推進ビジョン」を策定しました。

推進ビジョンのキャッチコピーは、
「まちの『しんか』
できる、ひろがる、デジタル」。

これまでのコンパクトシティ政策をスマ
ートシティ政策で補完・融合させること
により、これまでできなかったことがデ
ジタルの技術を活用してできるようにな
り、市民生活がより豊かになること。
郊外部や中山間地域など市域のどこに
住んでいても不便を感じることなく、安
全・安心で誰もが暮らしやすさを感じら
れるまちであること。そんな未来を目
指しています。

富山市版 スマートシティ

富山市は、デジタル技術やデータを活用し、地域課題や市民の困りご
とを解決する「スマートシティ政策」に産学官民で取り組んでいます。

この「スマートシティ政策」と、富山市がこれまで進めてきた「コンパクト
シティ政策」を融合させることで、さらなるまちの発展を目指しています。



産学官がスクラムを組む SCRUM-Tを設立

富山市では、令和5年11月、富山市スマートシティ推進プラットフォーム（通
称SCRUM-T）を設立しました。令和6年12月末現在、県内外の204企業・団
体等が登録されています。

SCRUM-Tでは、様々な企業・団体が同じビジョンを共有し、市民にとって真
に有益なスマートシティ関連事業を創出するため、交流や共創を深めています。



SCRUM-T総会



サイドイベント（共創会員企業への個別面談会）



スマートシティ関連事業創出のために

富山市では、SCRUM-Tの会員企業が行うアプリケーションの開発やビジネ
スモデルの試行などの実証事業に対し補助を行っており、令和6年度は3件の
実証事業を支援しています。

また、共創施設「スケッチラボ」では、市民にとって真に有益なサービスを生
み出すため、スケッチラボ会員により、ユーザである市民を巻き込みながら商
品やサービスを開発する「リビングラボ」が行われています。

産学官民の連携により、「富山市版スマートシティ」の実現に力強く歩みを進
めています。



実証事業選定に関する市長記者会見



スタートアップ企業との連携イベント（東京）



富山市が取り組むスマートシティ関連事業を紹介

●市民の安心・便利のために 富山市LINE公式アカウント

富山市では、公式LINEアカウントを活用した情報発信や予約等のサービスを行っています。

【機能・サービス】

- 災害・緊急情報の配信
- テーマ別の情報提供
- 住民票の写しなどの交付申請
- 市民課などの窓口予約
- 各種講座の予約
- クマ出没情報を通知
- 水道使用開始・中止の申請 など



●富山市情報公開サイトで 生活に役立つ情報を発信

富山市情報公開サイト「Toyama Smart City Square」では生活に役立つ様々な情報を発信しています。

- 河川水位情報……IoTセンサーが収集したリアルタイムの情報
- 消防車両出勤情報…消防局の指令システムと連携
- 市役所窓口(市民課等)の混雑状況

<https://tscs.city.toyama.lg.jp>



●AIが最適なバスのルートを決める AIオンデマンド交通システム

大山地域ではAIオンデマンド交通システムを導入した乗合バス「あいのり大山」を運行しています。利用者は約40か所の停留所で乗り降りができ、スマホや電話で乗車予約をします。予約を受け付けるとAIが最適なルートを判断し、配車を行います。車を使えない高齢者等の移動手段として役立っています。



●町内会活動に便利なアプリ 「電子回覧板」の導入を支援

富山市では、町内会役員の負担軽減等を目的として、町内会等が「電子回覧板」を導入する場合に導入費用を補助しています。電子回覧板には、行事案内の一斉送信や過去の配信情報を再確認できるメリットがあるほか、行事出欠の自動集計や災害時の安否確認など多岐にわたる機能があります。



●リアルタイムでバスの運行情報を表示 デジタルサイネージを設置

バスの運行情報を表示するデジタルサイネージ(電子看板)を富山駅のバス乗り場などに設置しています。バスが到着するまでの時間や、何分遅れているかなどの情報を表示しており、リアルタイムでバスの運行情報を把握できます。



●高齢者向けスマホ教室

デジタル機器の利用に慣れていない高齢者を対象に、スマートフォンの使い方を学びます。郊外部などの公民館に出向いて行う講座や、まちなかで散策しながら楽しく学べる講座などを行っています。





みんなニッコリ

育さぽとやま

富山市の
こどもまんなか推進
ロゴマーク

こどもたちみんなが笑顔に

子どもたちが、みんな笑顔でいられるように。

子育て家庭が、喜びを感じながら子育てができるように。

富山市は、市民の皆さんと一緒に

「子育て日本一とやま」をめざしています。



● 妊娠中から切れ目なく支援します

保健福祉センター(7か所)

市内7か所の保健福祉センターでは、保健師など専門のスタッフが関係機関と連携しながら、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目のない支援を行っています。出産後も面談等を行うことで、保健師と保護者の方との信頼関係を築き、子育て家庭をサポートしています。



夫婦がこれから迎える出産や子育てについて学ぶ「パパママセミナー」



乳幼児健康相談

● 地域で安心して子育てができるように

まちなか総合ケアセンター

産後の母子がデイケアや宿泊でサポートを受けられる「産後ケア応援室」、24時間体制で妊娠中や産後の母親の電話相談に応じる「助産師ほっとライン」、子育て中の母親の交流や健康づくりを目的とした講座「ままのわ」を開催しています。また、病児・病後児保育(お迎え機能あり)を行う「病児保育室」があります。



「ままのわ」講座

まちなか
総合ケアセンター
Webサイト



産後ケア応援室

● 子どもの健やかな成長のために

子育て支援センター(16か所)

親子で遊んだり、専門スタッフに子育ての相談ができる「子育て支援センター」は市内に16か所あります。富山駅南CiCビル内にある子育て支援センターでは、土日祝日も遊び場を開放しています。また、各種講座も開催し、子育て家庭を応援しています。



「お父さんと遊ぼう」講座も開催!

子育て支援センターに
行ってみよう!
動画サイト



● 保育所、認定こども園等

市内には、保育所が33か所、認定こども園が75か所、地域型保育事業所が12か所あります。通常の保育時間を超えて保育が必要な子どもを預かる「延長保育」や、保護者の都合により家庭で保育ができない時などに一時的に預かる「一時預かり保育」等を実施しています。

そのほか、医療的ケアが必要な子どもの預かりや、保育所等で急に体調を崩した子どもを保護者のお迎えまでの間預かる「体調不良児対応型保育」を実施している施設もあります。



● 放課後の小学生をサポート

留守家庭の児童に対し、放課後の小学校の空き教室等を利用した子ども会(62か所)や社会福祉法人などの民間事業者が運営する放課後児童クラブ(73か所)にて遊びや家庭に代わる生活の場を提供しています。



● 子育て情報を発信

● 子育て支援ウェブサイト「育さぽとやま」

富山市の子育てに関する情報を集約したサイトです。

● 子育て支援

AIチャットボット
24時間365日、AIが子育てに関する質問に回答するサービスです。

● 母子健康手帳アプリ

「育さぽとやま」by母子モ予防疫種のスケジュール管理や健康診断の記録など便利な機能がたくさんあります。



育さぽとやま

育さぽとやま
Webサイト

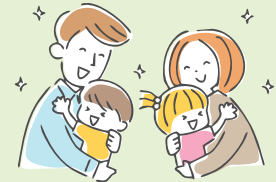


さまざまな取り組みがあります

● 若者への情報提供、妊娠までの支援

10代、20代の若者がライフプランを考えるきっかけづくりとして、妊娠・出産・子育てに関するフォーラムを開催しています。

また、子どもを望む夫婦に対し、妊娠に向けた検査や治療にかかる費用の助成を行います。



● ひとり親家庭の支援

ひとり親に寄り添いサポートする「ひとり親アテンダント」による相談支援や、ひとり親家庭の中学生・高校生に対する学習支援などを行っています。



● 障害のある児童への支援

「富山市恵光学園」では、心や体に発達の違いが心配される子どもたちに、早期に専門的な療育を行っています。また、「こども発達支援室」では、乳幼児の成長や発達に関する相談を受け、乳幼児期からの子どもの発達に応じた切れ目のない支援を行っています。



富山市恵光学園

● 医療費負担の軽減

こども医療費助成については、対象を高校生年代までに引き上げ(令和7年10月～)、また妊産婦の対象疾病にかかる医療費助成については、所得制限を廃止するなど、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して出産・子育てができるよう、支援しています。



都市の理想を、富山から。 SDGs 未来都市 TOYAMA



SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) とは、「世界中の誰一人取り残さない」をテーマに、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき課題と、その具体目標を定めたものです。貧困・飢餓、健康・福祉、気候変動、平和・公正などの17分野の目標を掲げており、グローバル化が急速に進む社会、経済、環境上のさまざまな課題に対して、国際社会全体で協働して取り組んでいくためのキーワードです。富山市ではこれまでもSDGsの理念と軌を一にする「環境未来都市」及び「環境モデル都市」として先行的な取り組みを行ってきており、自治体SDGsの積極的な推進に向けたモデルとしての役割も期待されているところです。こうした中、平成30年度に、国の「SDGs未来都市」に選定されました。このことから、経済・社会・環境の三側面をつなぐ統合的な取り組みを「重点プロジェクト」として位置付けた「第2次富山市SDGs未来都市計画」（令和3年3月策定）に基づき、これまでのコンパクトなまちづくりを、一層、深化・充実させるとともに、SDGsの理念を市民と共有し、地域の特性や魅力を高めた、「持続可能な付加価値創造都市」の実現を目指します。



SDGs未来都市が目指す将来像 ～富山市SDGs2030ビジョン～

コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現



公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現

公共交通の整備や次世代型交通システムへの対応を通じて、高齢者の外出機会の創出や中心市街地の活性化を図り、地域生活拠点とのネットワーク機能を高める「コンパクトシティ」の形成を目指します。



市街地を走る市内電車



ヘルシー＆交流シティの形成と
質の高いライフ・ワークスタイルの確立

健康・福祉の推進、子育て環境の充実等を通じて、地域が一体となり、健康・子育て・教育に取り組める「ヘルシー＆交流シティ」の形成を図り、市民にとって質の高いライフスタイルとワークスタイルが享受できる都市の実現を目指します。



まちなか総合ケアセンター「まちなかサロン」



セーフ＆環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築

再生可能エネルギーの導入拡大と活用推進を通じて、脱炭素化と都市レジリエンスが融合した「セーフ＆環境スマートシティ」と自立分散型エネルギーシステムの構築を目指します。



環境や防災に配慮した豊田地区センター・公民館



産業活動の向上のための技術・社会イノベーションの創造

新たな技術イノベーションを生み出す基盤の強化や市内企業の活性化に向けて、センサーネットワークを通じたデータの利活用や農林水産業へのAI・ICT等の先端技術の導入によるスマート化を推進します。



自動運転トラクタと有人運転トラクタとの2台協調作業



多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上

世代を問わずSDGsに取り組む人材の育成や官民連携・未来共創、市の知見やノウハウの国際展開の推進により、都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」を目指しています。



インドネシアに導入されたコンポストプラント

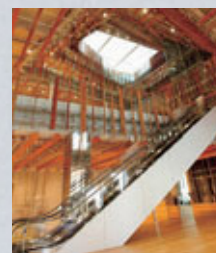
富山市の主な受賞歴

受賞(認定等)年月日	名 称	表彰(認定等)団体名※
令和4年 7月 13日	第19回 MM総研大賞2022 (「スマートシティ分野」最優秀賞と、全分野の最優秀賞の中から選出された最高賞である「大賞」を受賞)	株式会社MM総研
令和4年 3月 24日	第4期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
令和3年 12月 14日	スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2021	スポーツ庁
令和3年 10月 20日	歩くライフスタイル促進アプリ「とほ活」2021年度グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会 グッドデザイン賞審査委員会
令和3年 3月 5日	i-Construction大賞(国土交通大臣賞)	国土交通省
令和2年 12月 1日	第2回 コンパクトなまちづくり大賞「総合戦略部門」国土交通大臣賞	コンパクトなまちづくり推進協議会 一般財団法人都市みらい推進機構
令和2年 2月 28日	3つ星レジリエンスシティ	(一財)格付けジャパン研究機構
令和元年 9月 30日	軌道運送高度化実施計画の変更認定	国土交通省
平成30年 6月 15日	SDGs未来都市 全国初	日本国
平成30年 6月 15日	第2回 コンパクトシティ大賞(国土交通大臣賞)	まちづくり月間全国的行事実行委員会
平成29年 3月 24日	第3期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
平成29年 3月 15日	ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2017「グランプリ」	レジリエンス・アワード2017事務局
平成28年 7月 4日	世界銀行都市パートナーシップ・プログラム	世界銀行グループ東京開発ラーニングセンター
平成28年 2月 17日	低炭素杯2016「ベスト長期目標賞」	低炭素杯実行委員会
平成27年 7月 1日	平成27年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰	国土交通省
平成26年 12月 3日	100のレジリエント・シティ	ロックフェラー財団
平成26年 9月 23日	エネルギー効率改善都市 全国初	国際連合SE4ALL
平成26年 5月 29日	地域活性化モデルケース	内閣官房
平成26年 2月 21日	第5回 EST交通環境大賞(国土交通大臣賞)	EST普及推進委員会
平成25年 7月 25日	第1回 ブラチナ大賞(優秀賞)	ブラチナ構想ネットワーク
平成25年 2月 9日	平成24年度地域づくり総務大臣表彰(地方自治体表彰)	総務省
平成24年 3月 29日	第2期 富山市中心市街地活性化基本計画	内閣府
平成23年 12月 22日	環境未来都市 全国初	内閣官房地域活性化統合事務局
平成23年 6月 15日	第6回 まち交大賞・国土交通大臣賞	まちづくり情報交流協議会
平成23年 3月 11日	第24回 日本クリエイション大賞2010 大賞	(財)日本ファッション協会
平成23年 2月 11日	第1回 低炭素都市づくり・ベストプラクティス 大賞	低炭素都市推進協議会
平成22年 10月 14日	第9回 日本鉄道賞表彰選考委員会特別賞	「鉄道の日」実行委員会
平成22年 7月 15日	第5回 まち交大賞・まちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞)	まちづくり情報交流協議会
平成21年 7月 17日	第4回 まち交大賞・創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞)	まちづくり交付金情報交流協議会
平成20年 7月 22日	環境モデル都市 全国初	内閣府
平成20年 2月 28日	軌道運送高度化実施計画 全国初	国土交通省
平成19年 2月 8日	富山市中心市街地活性化基本計画 第1号認定	内閣府
平成18年 2月 27日	第1回 まち交大賞・創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞)	まちづくり交付金情報交流協議会

※団体の名称は受賞(認定)当時のもの。

ニューヨーク・タイムズ 「2025年に行くべき52か所」に選出されました

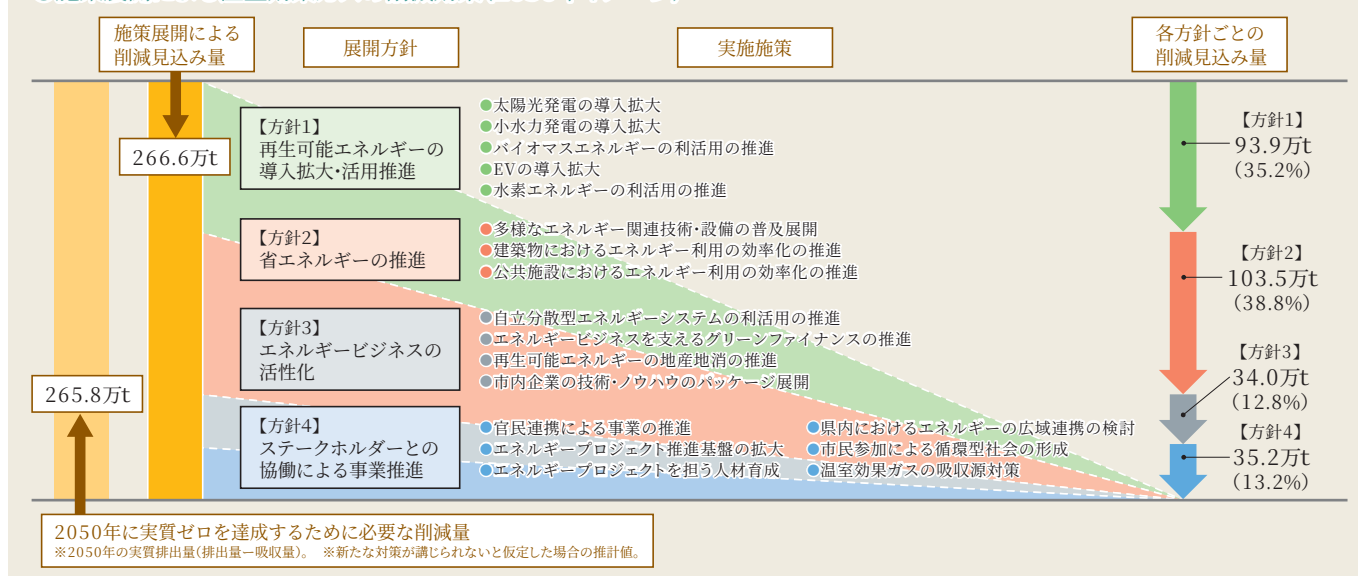
アメリカの大手新聞「ニューヨーク・タイムズ」が、2025年1月7日、「2025年に行くべき52か所」を発表し、世界各地の観光地の中から富山市が選ばれました。「混雑を回避しながら文化的な感動とグルメを味わえる」と評価され、ガラス美術館やおわら風の盆などのほか、地元グルメやカフェなどが紹介されました。



環境へのやさしさに満ちたまち。

富山市地球温暖化対策推進計画

● 施策展開による温室効果ガスの削減効果(2050年イメージ)



2050年の未来へ向けて「ゼロカーボンシティ」の実現へ

近年、国内外でのゼロカーボンの実現に向けた機運が高まる中、本市におきましては、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、令和3年3月に「ゼロカーボンシティ」を表明するとともに、令和5年3月に「富山市地球温暖化対策推進計画」を策定しました。

本計画では、2050年の目標を達成するために、①再生可能エネルギーの導入拡大・活用推進、②省エネルギーの推進、③エネルギービジネスの活性化、④ステークホルダーとの協働による事業推進、の4つの基本方針を掲げ、脱炭素に資する取り組みを推進していきます。

さらに、地球温暖化防止には市民・団体・事業者・行政がそれぞれの役割を果たし、連携・協力して推進することが重要であり、行動を市民全体に広げる取り組みとして「チームとやまし」事業を推進し、市民総参加の行動として温室効果ガス削減を目指しています。

● 公共施設のZEB化に向けた取り組み

建築物におけるエネルギー利用の効率化を推進するため、富山市エコタウン交流推進センターにおいて、高効率な空調や照明を導入する「ZEB(ゼブ: Net Zero Energy Buildingの略称)」化改修を実施しました。省エネ・断熱等のリフォームの推進とともに市域におけるZEBの導入拡大に取り組めます。



● チームとやまし

<https://www.team-toyama.jp/>



平成20年6月、「とやまがかえる。みらいをかえる。」を合い言葉に、温室効果ガス削減の成果を上げていくことを目的とした「チームとやまし」推進事業の取り組みがスタート。家庭・企業・団体などが自主的にチームを結成し、「チームとやまし」のメンバーとなって具体的な地球温暖化防止行動とその目標を掲げ、環境家計簿の活用やイベント参加など様々な活動を行います。

※令和7年2月1日現在1,863チーム(29,026人)加入



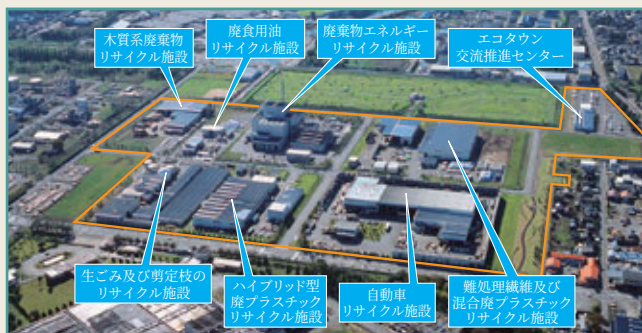
● 水素エネルギーの利活用に向けた取り組み

利用段階において二酸化炭素を排出しないことから、環境負荷の少ない次世代エネルギーの一つとされている水素の普及を推進しています。次世代エネルギーパークに認定されているFCV(燃料電池自動車)用の水素ステーションが市内2か所に設置されているほか、令和5年度には、水素エンジントラックの実証走行が行われました。また、イベントでのFCVの展示やFCVを導入される方への導入費用補助を行うなど、水素エネルギーの普及啓発に向けた様々な取り組みを行っています。

次世代エネルギーパーク

平成24年1月、富山市は再生可能エネルギー設備や体験施設などを整備した都市等を認定する「次世代エネルギーパーク」に北陸で初めて認定されました。小水力や太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギー施設をひとつのエネルギーパークとみなし、連携を図りながら小中学生の環境学習や、市民のエコツアーなどの様々な啓発事業に取り組んでいます。

① エコタウン産業団地



環境にやさしい循環型のまちを目指し、省エネルギー、廃棄物のリサイクルなどによる資源循環型社会を築くため、「富山市エコタウンプラン」を推進しています。エコタウン産業団地内では、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設やハイブリッド型廃プラスチックリサイクル施設など7つの民間事業者が操業しています。（面積：約18ha 平成14年5月事業開始）

② 水素ステーションとやま



令和2年3月に北陸初の商用ステーションとしてオープンしました。富山県内で製造した副生水素を精製し、燃料電池自動車に水素を供給します。

③ 水素ステーションとやま



③ とやま南水素ステーション



令和5年4月に商用ステーションとしてリニューアルオープンしました。供給する水素の一部を、再生可能エネルギー（太陽光）で発電した電力を使って製造しています。

④ 富山太陽光発電所



約3万m²の敷地に4,815枚の太陽光パネルを設置し、発電出力1,000kWで年間約100万kWh（約250世帯分の年間電気使用量）を発電します。

⑤ 営農サポートセンター



小水力や太陽光、地中熱などを利用した設備を一体的に整備し、再生可能エネルギーを「見える化」して、農業者等に体感してもらうショールームとすることで、再生可能エネルギーの普及展開や農村地域の脱炭素化に繋げていくことを目指しています。

⑥ 木質ペレット製造施設



木質ペレットとは間伐材などを固形燃料化したもので、燃焼時に大気中のCO₂を増加させることがないため、森林資源の有効活用や地球温暖化防止に役立っています。生産された木質ペレットは家庭や公共施設のペレットストーブや温水プールの加温用ボイラーなどに利用されています。

⑦ 小水力発電所



常願寺川を水源とする常西合口用水において、2か所の小水力発電を整備しました。2か所合わせた最大出力は、97.9kWで年間71.73万kWh、約200世帯分の年間電気使用量を発電します。

公共交通活性化によるコンパクトなまち。



コンパクトなまちづくり

富山市では、人口減少や超高齢社会の到来など都市を取り巻く課題に対応し、将来世代に責任が持てる、快適で持続可能な都市を実現するため、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを推進しています。

そのリーディングプロジェクトとして平成18年4月には富山ライトレールが開業し、平成21年12月には市内電車環状線の開業、平成27年3月には市内電車の富山駅乗入れを開始しました。

さらに、令和2年3月には、本市が進めるコンパクトなまちづくりの一つの到達点である路面電車南北接続事業が完成し、これまで鉄道で分断されていた富山駅南北の市街地の一体化が図られるとともに、富山駅を中心とした全長約15kmのLRTネットワークが形成されました。

● 路面電車南北接続事業

路面電車南北接続事業は、富山駅南側の市内電車と北側の富山港線を富山駅の高架下の新設する停留場で接続するものです。第1期事業として、平成27年3月の北陸新幹線の開業に合わせて、富山駅南側を運行する市内電車の新幹線高架下への乗り入れを開始しました。第2期事業は、富山駅北側の富山港線を平成31年3月に完成した在来線の高架下まで延伸するもので、令和2年3月に富山駅南北の路面電車がつながりました。これにより、新幹線や在来線から路面電車へのスムーズな乗り換えが可能となり、富山駅における交通結節機能が大幅に強化されるとともに、本市の北部地域から中心市街地へ乗り換えなしで直接アクセスすることが可能になるなど、路面電車の利便性が飛躍的に向上しました。



● 富山市の目指すコンパクトなまちづくり

富山市が目指すお団子と串の都市構造

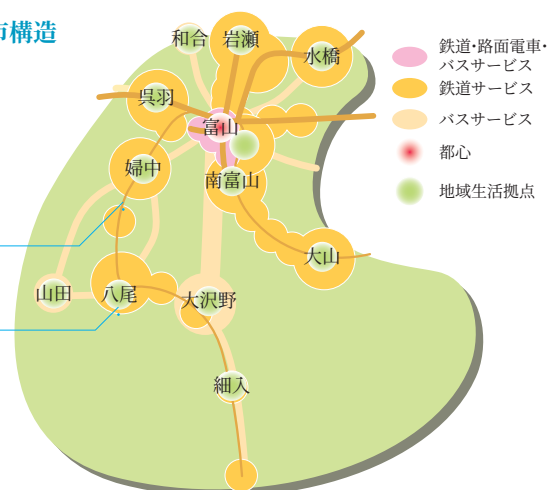
都心部だけではなく全市的に行うコンパクトなまちづくり

「串」

一定以上のサービス水準の公共交通

「お団子」

串で結ばれた徒歩圏



公共交通の活性化による まちなかの賑わい向上

北陸新幹線整備と在来線の高架化に合わせた路面電車南北接続や駅前広場整備により、富山駅に結節する鉄道や路線バスなど公共交通の乗り継ぎが便利になり、富山駅の交通結節機能が大幅に向上しました。また、市内電車の環状線化や南北接続事業をはじめとする公共交通の活性化や、グランドプラザやTOYAMAキラリなどの整備を進めてきたことが呼び水となり、富山駅周辺や平和通り周辺地区においては、民間投資による再開発事業が相次いで行われています。こうしたことにより、居住誘導区域内である中心市街地と公共交通沿線居住推進地区が人口増となるなど、公共交通の活性化が人口増や賑わいの創出に大きな効果をもたらしています。



自動運転実証実験事業

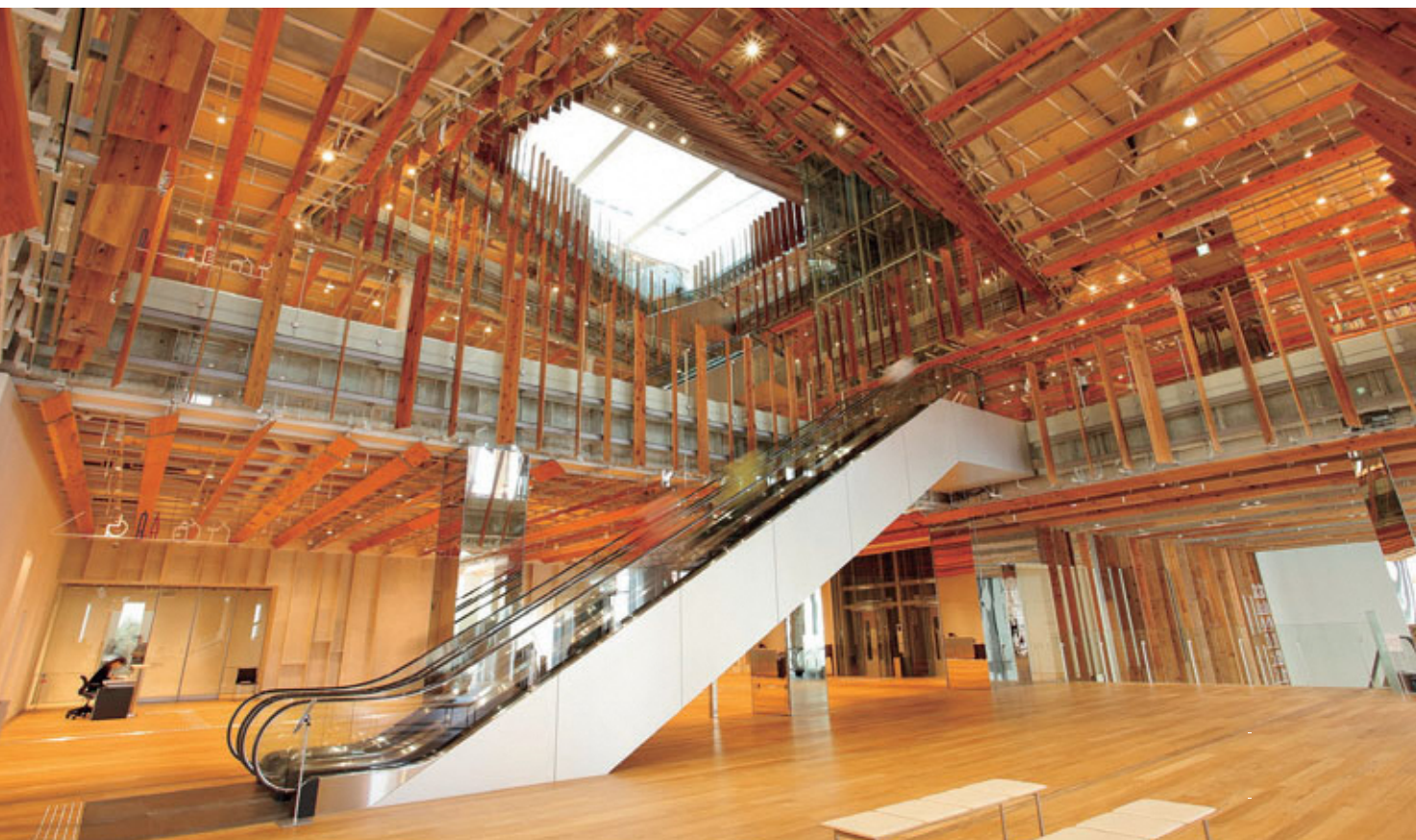
郊外や中山間地域における生活の足となる交通手段の確保や、バス運転手不足の解消などに向けて、最先端技術を活用した持続可能な公共交通サービスを提供するため、婦中地域朝日地区において、レベル2の技術を活用した自動運転車両の実証実験を行っています。実証データや利用者・地域住民へのアンケート調査などによる効果検証を踏まえ、自動運転サービスの今後の展開を検討します。



グリーンスローモビリティ運行事業

ラストワンマイルとして市民の交通手段の確保や観光地を回遊する新たな移動手段として、環境にやさしく低速で安全なグリーンスローモビリティを導入しています。富山駅北地区では、賑わい創出や回遊性の向上のため、バスタイプが民間主体で令和5年8月から本格運行を開始しています。郊外部等では、交通手段を確保するため、駆動力があり小回りの効く、ランドカータイプによる社会実験を岩瀬地区で実施します。





ガラスをテーマ とした街づくり

昭和60年度から「ガラスの街とやま」を目指して、ガラス文化を担う人材の育成やガラス作家の定住・定着支援、「富山ガラス」のブランド化など、様々な事業を展開しています。

また、平成24年9月には、ガラス関連施設が集積する「グラス・アート・ヒルズ富山」において、体験機能やイベント機能を充実させた「富山ガラス工房第2工房」がオープンし、平成27年8月には、「富山市ガラス美術館」が開館しました。

これらの事業により、多くの市民がガラスに親しむことが出来るとともに、ガラス造形研究所の卒業生やガラス工房の作家等の国内外での活躍などもあって、富山のガラスは全国的にも知名度を高めています。

富山市ガラス美術館

<https://toyama-glass-art-museum.jp>

「ガラスの街とやま」の中核施設となる本美術館は、市が所蔵する現代ガラス作品の展示や、ガラス芸術を中心とした展覧会の開催を通じて、多くの人々にガラス美術の魅力や楽しさを体感していただけます。世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した温もりある開放的な空間となっています。



グラス・アート・ガーデン

ガラス美術館6階「グラス・アート・ガーデン」には、現代ガラス美術の巨匠デイル・チフリー氏によるインスタレーション（空間芸術）作品を展示しています。チフリー氏の代表的なシリーズである「ペルシャン」や「フィオリ」など5つのインスタレーション作品と、パネル作品を観覧できます。

Dale Chihuly, *Toyama Mille Fiori*, 2015,
H280×W940×D580cm,
Toyama Glass Art Museum,
©Chihuly Studio. All rights reserved.



富山ガラス工房 第2工房

「ガラスの街とやま」を身近に感じてもらうため、「富山ガラス工房 第2工房」では、吹きガラスや季節ごとの特別コースなど、様々な制作体験を楽しむことができます。イベントも充実させており、約70席設けた観覧席から、プロのガラス作家の実演を間近で見ることができます。



富山ガラス工房は、ガラス工芸の技術者養成と創作活動を通じてガラス工芸品を富山の新しい産業として定着させることを目的に平成6年に設置されました。富山独自のガラス素材の研究や建物の様々な空間での活用などを通して、ブランド化を推進しています。



ガラス工芸品

富山ガラス工房のオリジナル色として開発した「富山曼荼羅彩」



ガラス工芸品

ブランド化事業の一環として開発した
〈富山アイコニック®〉

2019年、富山で活躍するガラス作家の有志が集まり、日本発のラグジュアリーブランドとして開発されました。

● 富山ガラス造形研究所

<https://toyamaglass.ac.jp/>

平成3年に全国初の公立のガラス専門教育機関として設立された富山ガラス造形研究所では、富山のガラス文化を担う優れたガラス作家の育成に取り組んでいます。充実した設備と一流の講師陣は世界的にも高い評価を受けており、高い専門技術を身に付けた卒業生たちが、ガラス業界の様々な方面で活躍しています。



アーティスト・イン・レジデンス事業

国内外で活動するガラス作家を公募し、その中から選ばれた作家が富山に滞在、作家と「ガラスの街とやま」の双方の魅力を発信しています。

活気にあふれ、多様な暮らし方を実現させるまち。



地域特性を活かした 都市機能の集約

中心市街地への公共交通の利便性を高めることで、就業、買い物、文化、レクリエーションの場、居住の場を複合的・集約的に立地することにより、活力と魅力ある「都市の顔」を形成していきます。

また、豊かな自然や地域の個性・特性を活かすとともに、地域の核となる地域生活拠点での日常生活に必要な機能やサービスの維持・集約と公共交通の充実により、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

富山トランジットモール(大手モール)

路面電車と歩行者のみの空間を作り、賑わいを創出する取り組みです。大手モール周辺には雑貨や飲食のお店が出店され、多くの人が訪れます。

官民共創によるまちづくり

南北自由通路の開通や路面電車の南北接続により、富山駅周辺エリアの人の流れは劇的に変化しました。令和5年3月には民間事業者や市民が中心となり、未来ビジョン「トヤマチ∞ミライ」が策定されました。本市も、民間事業者や市民と互いに情報を共有し連携することで、富山駅周辺エリアが居心地よく愛される空間となるよう取り組んでいます。



まちなか居住推進事業

まちなかの定住人口を増やすため、市民が良質な住宅の建設や購入をした場合の購入補助や、賃貸アパート等に住む場合の家賃補助を行っています。さらに、共同住宅等を建設した事業者にも補助を行っています。



おでかけ定期券

市内在住の65歳以上の方が市内各地から中心市街地へ出かける際に、地鉄路線バス、地鉄電車、市内電車などを100円で利用できる定期券です。また、おでかけ定期券を提示すると、中心市街地の協賛店で商品割引が受けられるなどの優待サービスもあります。



歩きたくなるまちづくりの推進 （「とほ活」の取り組み）

富山で歩く生活＝「とほ活」の取り組みを進めています。スマートフォンアプリ「とほ活」は、歩数や公共交通の利用、市内イベントの参加、体重等の入力によってポイントがたまり、ポイントに応じて素敵な賞品が当たる抽選に応募することができます。



快適に暮らせるコミュニティが生まれるまち。



健康で健全に暮らす まちづくり

子どもからお年寄りまで、市民が豊かで快適、安全に暮らすため、医療・福祉の充実や特色のある様々な施策に取り組んでいます。

パワーリハビリテーションをはじめ高齢者の生活機能の維持や健康寿命を延ばす取り組みにも力を入れています。

▲ シニアライフ講座

地域の公民館などで、生け花や陶芸、スマホ教室など様々な講座を開設しています。高齢者が楽しく、いきいきと過ごす通いの場となっています。

● 介護予防の拠点 「角川介護予防センター」愛称『ほっとねす角川』

全国初の温泉水を活用した介護予防を専門に行う施設です。医師や専門スタッフが運動プログラムを作成し、多機能プールでの水中運動やパワーリハビリテーションなどを提供することで、虚弱高齢者等の介護予防及び健康増進に努めています。



● スマートウェルネス推進事業 (ICTを活用した健康づくり)

野菜摂取量を測定する装置や超音波で骨密度を測定する装置などのデジタル機器を使い、個人の健康データを「見える化」し、生活習慣の改善に向けた行動変容を促す「はかる・みえる・きづく・かわる」取り組みを実施しています。



● 市民の健康を守る医療体制

それぞれの病院・診療所が役割を分担し、互いに連携することで、地域医療を支えています。



▲ 富山市民病院

高度急性期・急性期医療を担う地域の中核病院として、地域のかかりつけ医などから紹介された患者や救急搬送された患者を受け入れるとともに、災害医療にも取り組んでいます。



▲ 富山まちなか病院

地域のかかりつけ医療である外来と、回復期の患者を受け入れリハビリテーションなどの在宅復帰支援を行う地域包括ケア病床を提供しています。



▲ まちなか診療所

訪問診療を専門に行う診療所で、医療や介護が必要になっても、住み慣れたまちで暮らせるよう、患者や家族、医療福祉関係者を24時間365日サポートしています。在宅医療の人材育成にも力を入れています。

子どもたちがいきいきと学び感動を育むまち。



ICT活用推進事業

国が示した「GIGAスクール構想」の実現に向けて、令和2年度に一人1台端末の配備と校内無線LAN環境の整備を完了しました。ICT機器等の活用により、子ども一人一人の興味・関心やペースに合わせた「個別最適な学び」が実現されるよう授業改善に取り組んでいます。ICT教育やプログラミング教育の推進により、子どもたちの情報活用能力の育成を図ります。

学び、感動して 成長する環境づくり

小・中学校の改築や耐震補強、エアコン設置、全トイレの洋式化を進めるなど、子どもたちがいきいきと学び健やかに育つ教育環境の充実を図っています。

また、学校や地域の特色を活かした、多様で个性的な教育を展開するため、学校の裁量を拡大し、学校が自主的・活動的な創造性にあふれる学校経営を行うことができるように支援しています。

さらに、子どもたちが自然科学に触れる機会を増やし、感動しながら育つよう、様々な事業に取り組んでいます。

PFI手法による学校整備事業

設計・建設・維持管理について民間の資本やノウハウを取り入れたPFI手法による学校整備事業を実施し、平成20年度には統合校として小学校1校、小中学校一体型校舎1棟を、平成22年度には、分離校として1校が開校しました。令和4年度には、新たに統合校として八尾中学校が開校しました。このほか、令和8年度に水橋地区の小中学校を統合した富山市初の義務教育学校「水橋学園」を開校するため、現在、整備を進めています。



統合校として新たに開校した八尾中学校



令和8年4月の開校を目指し整備を進めている水橋学園（イメージ図）



元気な学校創造事業

学校が自主的・活動的で、元気と創造性にあふれる学校運営を行うため、学校の裁量を拡大した事業実施形態を取り入れています。

地域の方々から地元特産野菜の栽培や伝統産業を学んだり、小規模校同士で交流し多様な価値観に触れたり、児童生徒が意欲にあふれた学校生活を送れるよう、各学校で創意工夫をして特色ある教育活動に取り組んでいます。



立山登山

子どもたちが北アルプスの雄大な自然に触れる機会を創出するため、学校、PTA及び社会教育団体等が立山登山または立山周辺の散策活動を行う際の費用を助成しています。



富山市立図書館 <https://www.library.toyama.toyama.jp/>

「みんなに本を 地域に図書館を」を基本理念として、25の図書館を市内全域で運営しています。

中でも中心市街地に立地する本館(TOYAMAキラリ内〔P6-2参照〕)は、読書や情報の拠点であるにとどまらず、各種イベントを開催し、まちなかの「にぎわい交流拠点」として市民に親しまれています。

また、本館には閲覧室やWi-Fi環境が整備され、観光やまちづくり、路面電車関係の資料も充実しています。



富山市科学博物館 <https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>

県内で発見された恐竜足跡化石やクジラの骨格標本、ダイヤモンドダスト発生装置などの多彩な展示を通して、変化に富む富山の自然や地形の成り立ち、人と自然との関わりを、楽しみながら学べる博物館です。

プラネタリウムでは、美しい星空と迫力ある宇宙映像が楽しめます。



孫とおでかけ支援事業

高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深めるために、祖父母と孫(ひ孫)が一緒に科学博物館やファミリーパークといった対象施設に来館された場合に観覧料等を全額減免し、地域の文化や歴史、科学への関心を幅広い年齢層に広めることなどを目的として実施しています。



とやまこどもプラザ

「とやまこどもプラザ」は、こども図書館と子育て支援センターが一体となった施設です。親子で本を楽しんだり、子育てに関する相談や保護者同士の交流・情報交換などができる場となっています。



富山市ファミリーパーク

<https://www.toyama-familypark.jp/>

呉羽丘陵の豊かな自然の中に位置する動物園です。令和6年で開園40周年を迎えました。世界の希少な動物や、郷土の動物を中心に95種699点(令和7年1月31日現在)の動物を飼育・展示しています。ニホンライチョウの保護増殖事業のほか、令和4年には熱帯鳥類館「バードピア」がオープンし、ヨウム繁殖プロジェクトにも取り組んでいます。

また、小動物とのふれあいや乗馬体験、自然体験などの環境教育を通じて「命の大切さ」を伝えていきます。



多様性ある産業構造を活かし 安心して働くことができるまち。



製薬工場

市内には約50社もの製薬企業が集積しており、製薬業は、全国でもトップクラスの医薬品生産額を誇ります。

富山イノベーションパーク



市内に30か所ある企業団地には、医薬品製造をはじめ工業用ロボット製造、IT関連企業などが操業しています。

将来を見据えた 様々な取り組み

富山市の製造業は、医薬品、産業機械、精密電子部品、精密機械部品などを製造する多種多様な企業で構成されています。

大きく変化している社会経済情勢のなか、将来にわたって富山市への投資を呼び込み、地域経済の活性化と安定した雇用の確保のため、企業団地の整備や融資制度の充実など様々な施策に取り組んでいます。

また、農業や水産業分野においても、将来を見据えた特色ある施策を行っています。

産業用ロボット

産業用ロボット、半導体、精密部品などのメーカーが富山市の製造業を支えています。



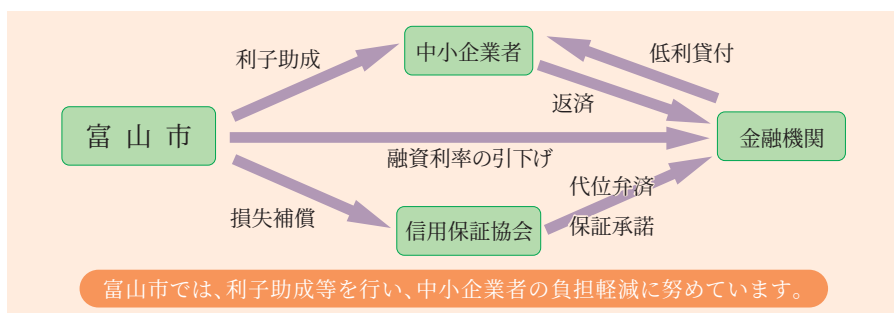
未来共創拠点施設「Sketch Lab(スケッチラボ)」

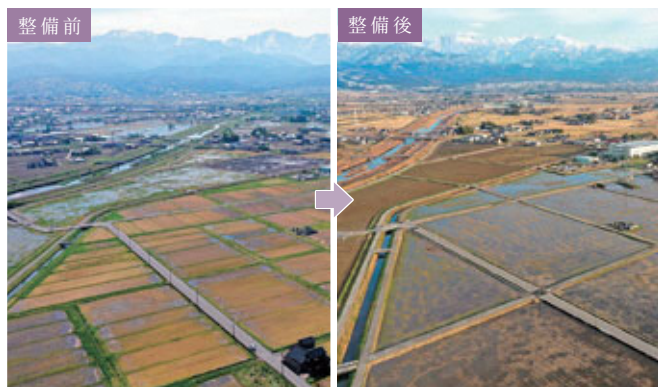
立場や世代の異なる産学官民が対話を重ね、未来のビジョンを共有し、新たなビジネスの創出や暮らしの課題の解決にチャレンジする「未来共創」を目的とした、会員制の交流・共創スペースです。産学官連携組織によって運営され、交流イベントやビジネスコンテスト、シビックテックなどの多彩なプログラムが開催されています。市のスマートシティ政策における企業の共創の場としても活用されています。



中小企業向け融資制度

富山市では、中小企業者の事業資金調達の円滑化を図るため、「運転資金」や「設備投資支援資金」、「創業者支援資金」など多様な用途に応じた融資制度を設けています。利子助成や損失補償を行うなど低利で利用しやすい仕組みづくりに努めており、多くの中小企業者に利用されています。





▲ 国営農地再編整備事業 (次世代農業促進型)「水橋地区」

水橋地区で、国による農地の大区画化等の農地整備が実施され、担い手農業者へ農地の集積・集約化がすすめられています。また、自動走行機械やICT技術を活用した「スマート農業」による農作業の省力化・効率化や、高収益作物の作付拡大により生産性・収益性の向上を図る「次世代型農業」を関係機関とともに推進しています。

● 良質な森林の保全と活用

水源かん養や国土保全、CO₂の吸収など公益的機能を持つ森林の再生を市民共有の課題と位置づけ、市民との協働による里山整備や企業との協働による森づくりに取り組んでいます。



● とやま楽農学園

富山市では、農業の多様な担い手として、非農家の方にも農業に携わってもらうため、「とやま楽農学園」を開講し、農家を支援する農業サポーターの育成に努めています。



● 地場もん屋

<https://www.siminplaza.co.jp/jibamonya/>

地産地消の推進拠点として中心市街地で営業しています。市内産の野菜や果物など、新鮮とれたて、四季折々の地場食材が豊富に揃っています。



▲ 有機農業取組拡大推進事業

令和6年3月に「富山市オーガニックビレッジ宣言」を行い、市内で環境に優しい有機農業を推進しています。有機農業用機械の導入支援や、市立小・中学校を対象とした学校給食での有機米提供などを行いながら、自然と調和した農業を目指しています。

● とやま花Tram・花Busキャンペーン

花で潤う街の創出を図るため、指定の生花店で花を購入し、花を持って市内路面電車や一部のバスを利用する場合に乗車運賃を無料とする「とやま花Tram・花Busキャンペーン」に取り組み、華やかで明るい空間を演出しています。



● 富山市公設地方卸売市場

富山湾は、天然のいけすと呼ばれ四季を通じて豊富な種類の魚介類が水揚げされます。富山市公設地方卸売市場では、富山県内をはじめ、全国から集荷した新鮮な魚介、青果、花きの取引が行われています。



青果の競り風景

● 農林水産物プロモーション推進事業

富山市産農林水産物の市民に向けてのPRや、国内外の多様な販路開拓を目指したプロモーション活動を推進し、農業所得の向上や市内産農林水産物の知名度向上、イメージアップを図っています。





ふるさと富山美化大作戦

例年8月に市内全域で、まちの環境美化を推進するため地域住民やボランティア団体、企業の方々の協力を得ながら清掃活動を行っています。市民が一斉に清掃に汗を流すことで、市民の一体感の醸成にもつながっています。

森林ボランティアとの連携



多様な森林ボランティア組織と行政が連携を図り、豊かな森づくりに取り組める仕組みづくりを行っています。

市役所出前講座



市職員が市民の会合に出向き、行政情報などを説明。介護や子育てなど、175講座(令和7年1月現在)を用意しています。

みんなの力をあわせて 未来のまちづくり

さまざまな活動を通して、「わがまち富山」に対するシビックプライドを醸成し、市民と行政の協働によるまちづくりをすすめています。

タウンミーティング



市民に市の施策等を説明し、意見を交換するためのタウンミーティングや、市長が市民の会合や集まりに出向き、市政に関する説明を直接行う市長の出前トーク。市政に関する相互理解を深めています。

国際交流の推進

国際社会への市民の理解を深め、市民による様々な国際交流活動を推進しています。また、次の4か国の都市と姉妹・友好都市を結んでいます。



友好都市
秦皇島市 中華人民共和国・河北省

友好都市締結調印の日
1981年(昭和56年)5月7日
人口 約3,107,000人 主な産業 ガラス産業
面積 7,813km² 機械製造業
ビニール産業



姉妹都市
ダボ・リージョナル・カウンシル オーストラリア連邦
ニューサウスウェールズ州

姉妹都市提携調印の日
1992年(平成4年)8月24日
人口 約57,000人 主な産業 農畜産業
面積 7,536km²



秦皇島市の観光地「老龍頭(澄海楼)」



ダボ・リージョナル・カウンシル



ダボ・リージョナル・カウンシルの「キャメロン公園」



ダーラム市の「デューク大学」



ダーラム市



モジ・ダス・クルーゼス市



モジ・ダス・クルーゼス市の「オ・マルコ広場」



姉妹都市
ダーラム市 アメリカ合衆国・ノースカロライナ州

姉妹都市提携調印の日
1989年(平成元年)6月13日
人口 約284,000人 主な産業 保健・医療関連産業
面積 286km² ハイテク産業



姉妹都市
モジ・ダス・クルーゼス市 ブラジル連邦共和国
サンパウロ州

姉妹都市提携調印の日
1979年(昭和54年)11月8日
人口 約452,000人 主な産業 機械金属製造業
面積 713km²

市民の安全を守り危機にそなえるまち。



● 防災対策

大規模な災害を想定した総合的な防災訓練を毎年各地域で実施しています。訓練には消防職員のほか、普段は様々な仕事に就いている消防団員も多数参加しています。



新しい富山消防署南部出張所に、停電時でも必要な電力を供給できる自家発電設備を設置しました。また、富山方面団熊野分団器具置場は延べ面積を増床し、2階に研修室兼待機室を設けるなど機能を強化しています。

地域と行政の連携で
市民の生活を守る

地震や台風による水害などの自然災害をはじめ、あらゆる危機に対応する体制の整備をすすめ、市民が安全に暮らせるまちづくりを進めています。

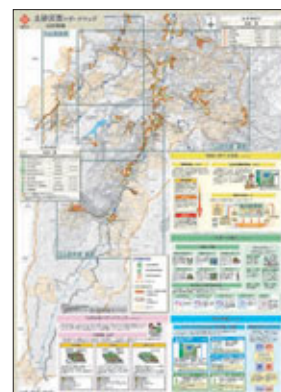
● 有害鳥獣対策

クマによる人身被害の防止を図るため、警察や鳥獣被害対策実施隊と連携し、クマ出沒時の警戒態勢を整えるとともに、市民への迅速な周知に努めています。また、地域住民が行う放任果樹の伐採等のクマ対策活動を支援しています。



● ハザードマップ

国が示す「土砂災害ハザードマップ作成ガイドライン」が改訂されたこと等を受け、「富山市土砂災害ハザードマップ」を令和4年度に更新しました。このほか、「富山市地震防災マップ」、「富山市津波ハザードマップ」、「富山市洪水ハザードマップ」、「富山市内水ハザードマップ」があります。



● 「松川雨水貯留施設」の整備

大雨の時に一時的に雨水を貯め、中心市街地の浸水被害の軽減などを図るため、基幹施設となる松川貯留管(延長約1.1km、直径約5m)や雨水幹線などの整備を行いました。



● 除雪作業

市民生活や経済活動を維持するために欠かすことができない除雪作業。冬期間の安全な道路交通の確保に努めています。





トヤマップ

TOYAMAP



海水浴場も市街地から近く、気軽に行けます。美しい松並木や白砂青松の浜辺など景観にも恵まれ、夏には海水浴やマリンスポーツを楽しむ人々で賑わいます。



12 市中央の交通拠点として利用されている北陸自動車道富山I.C.



13 富山県水墨美術館



14 高志の国 文学館



15 富山県美術館



16 富岩運河環水公園



17 富山市ガラス美術館・図書館本館



18 富山市科学博物館



19 水橋フィッシャリーナ



20 呉羽丘陵フットパス連絡橋



21 民俗民芸村



22 富山ガラス工房



23 富山市ファミリーパーク



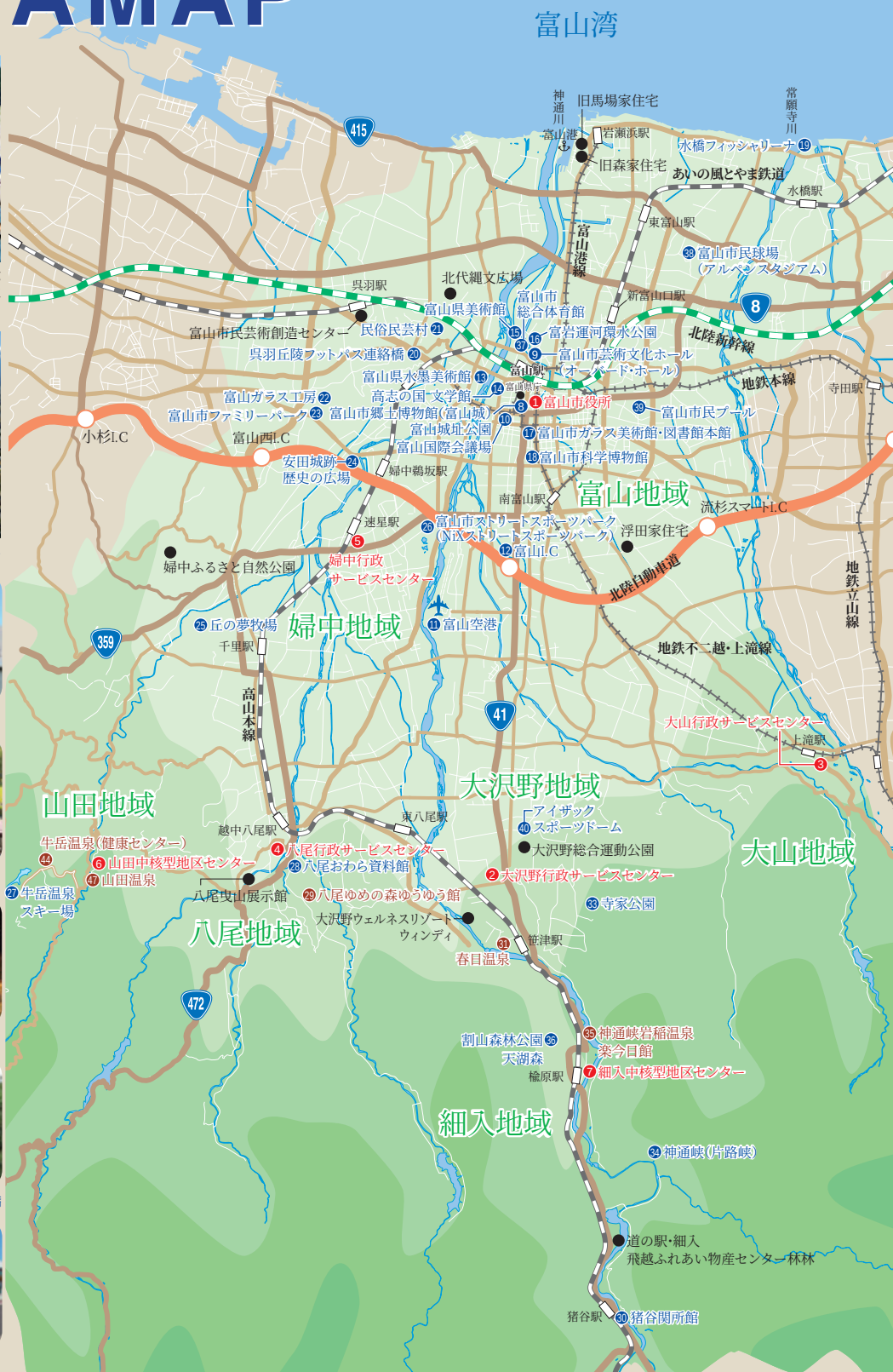
24 安田城跡 歴史の広場



25 丘の夢牧場



26 富山市ストリートスポーツパーク (NIXストリートスポーツパーク)



27 牛岳温泉スキー場



28 八尾おわら資料館



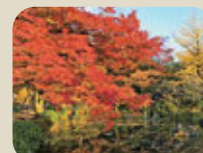
29 八尾ゆめの森ゆうゆう館



31 春日温泉



32 白木峰 21世紀の森



33 寺家公園

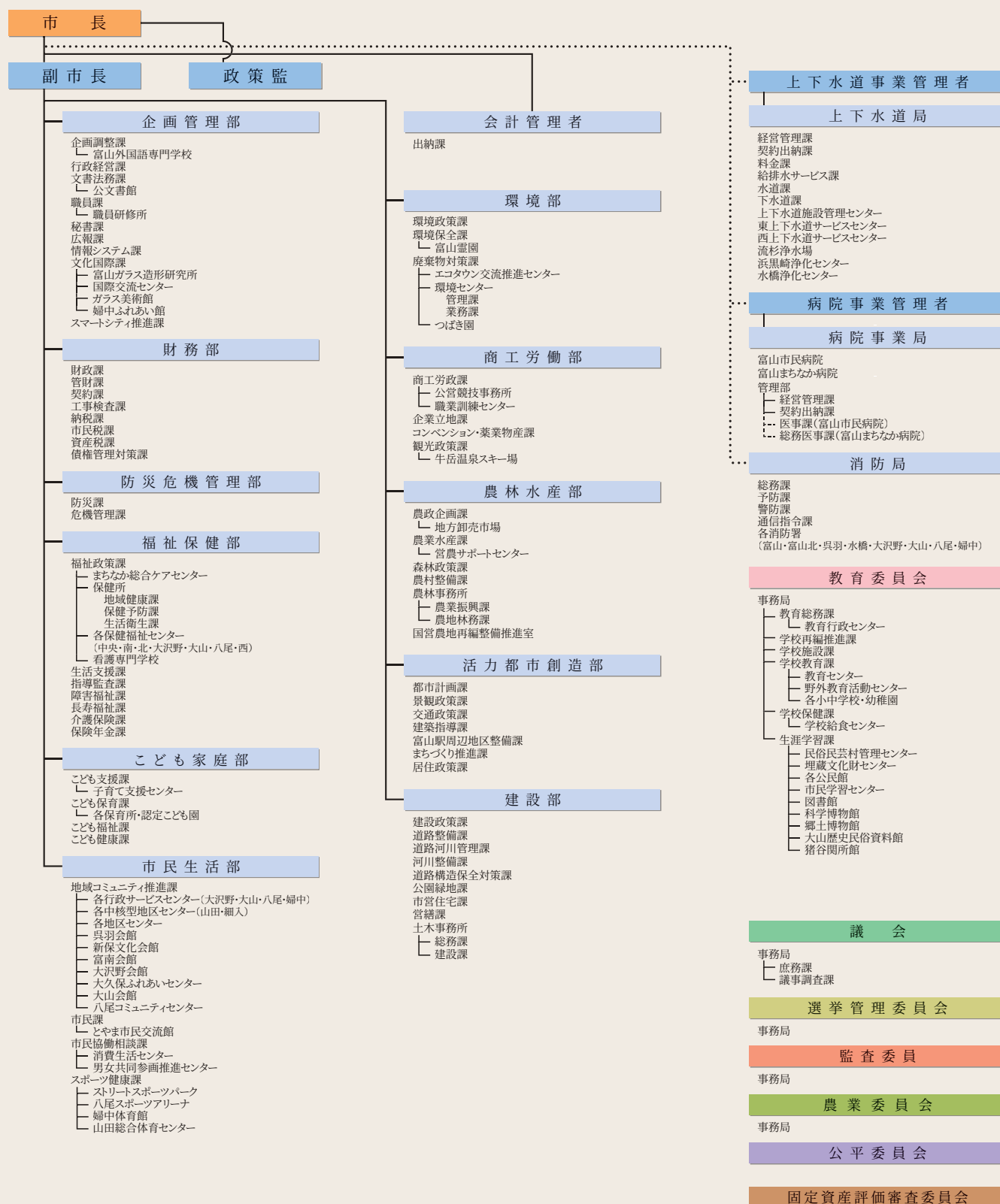
32 白木峰
21世紀の森

資料編目次

Data File Contents

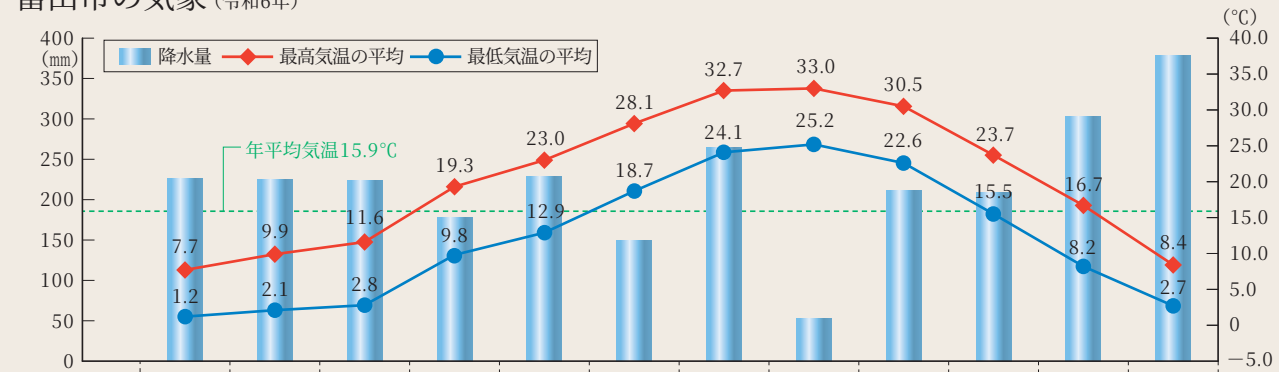
■行政機構図	38	■教育・文化	44
■気象	39	■環境	45
■人口	39	■災害と安全	45
■産業	40	■くらし	46
■運輸	42	■財政	47
■福祉・医療	43	■富山市の1日・富山市民の生活	47

■ 行政機構図 令和7年4月1日



■ 気象

富山市の気象（令和6年）



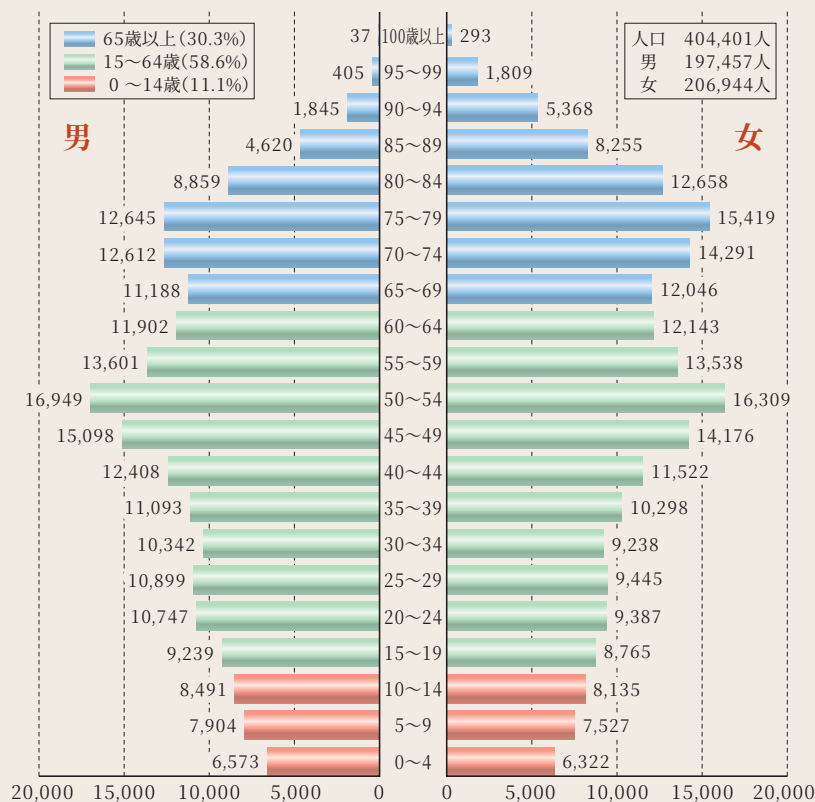
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温(℃)	4.2	5.6	6.9	14.3	17.9	23.2	27.8	28.6	26.2	19.3	12.1	5.2	15.9
平均湿度(%)	82	78	73	75	69	72	77	78	80	79	79	84	77
降水量(mm)	226.5	225.0	224.0	178.5	228.5	150.0	265.0	53.0	211.0	209.0	303.0	378.5	2652.0
最深積雪(cm)	31	6	8	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—
日照時間(h)	69.2	87.7	120.5	184.6	197.6	212.9	160.5	230.3	155.6	132.4	124.2	49.7	1725.2
日数													
降水	20	20	20	10	12	8	16	8	10	15	19	24	182
降雪	14	19	16	0	0	0	0	0	0	0	0	17	66

資料：富山地方気象台

※降水日数は日降水量が1mm以上の日数。

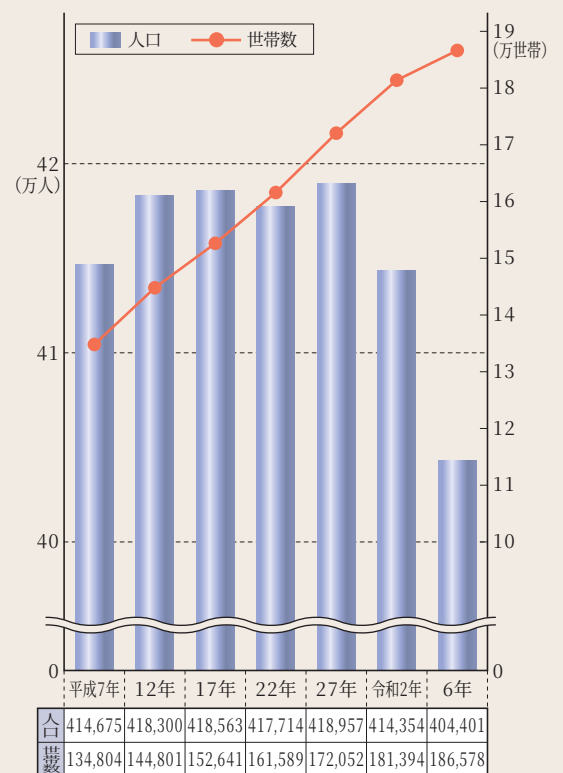
■ 人口

人口ピラミッド（令和6年9月末）



資料：企画管理部企画調整課「住民基本台帳人口」

人口および世帯数の推移（各年9月末現在）



資料：企画管理部企画調整課「住民基本台帳人口」

※住民基本台帳法の改正に伴い、平成27、令和2、6年の人口

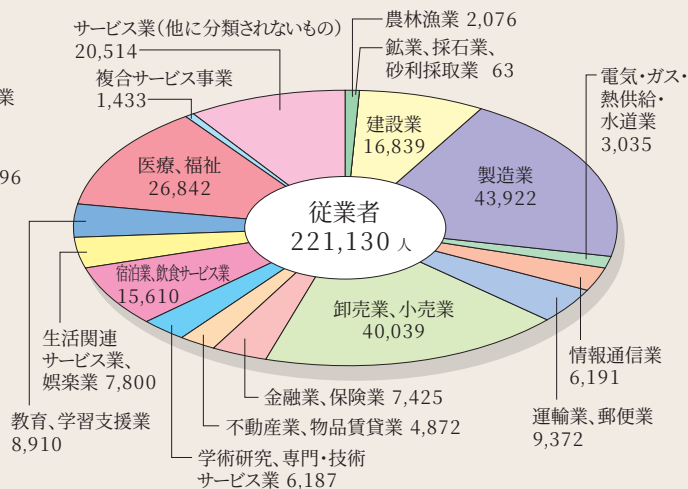
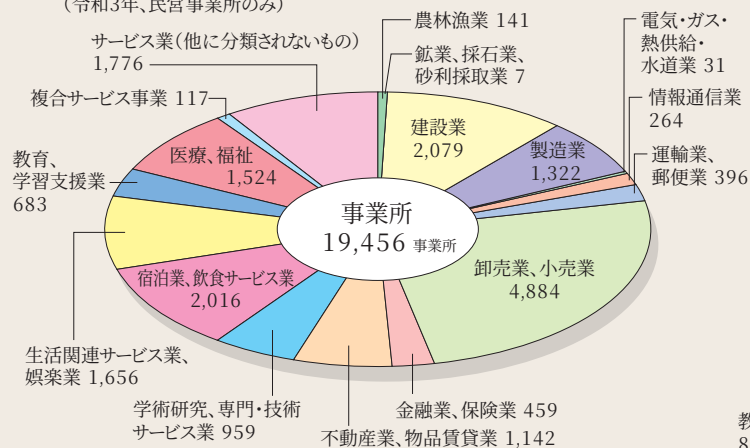
及び世帯数は、外国人住民を含んだ数値となっている。

※平成7、12年の値は合併前の旧市町村の値を含んだ数値である。

■ 産業

事業所の概要

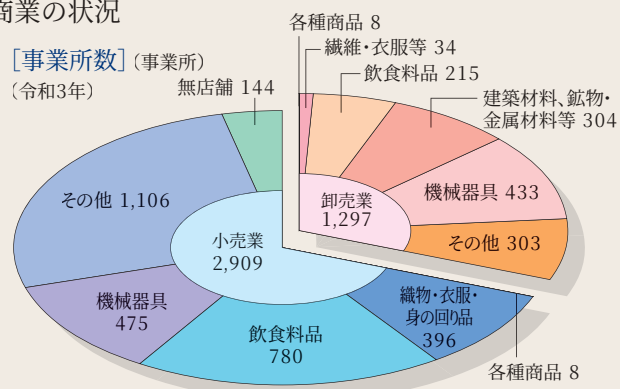
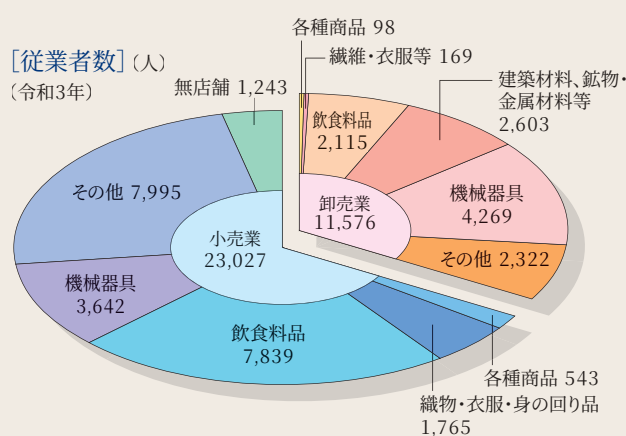
(令和3年、民営事業所のみ)



資料：総務省「経済センサス活動調査」

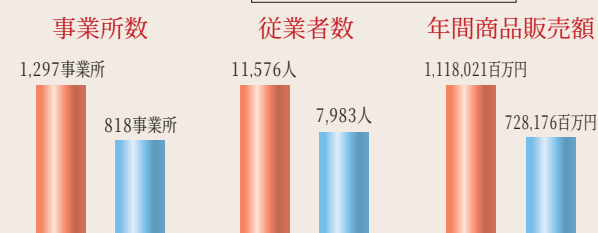
商工業・雇用の概要

商業の状況

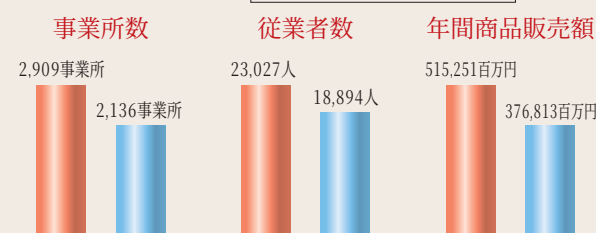
[事業所数] (事業所)
(令和3年)[従業者数] (人)
(令和3年)

資料：総務省「経済センサス活動調査」

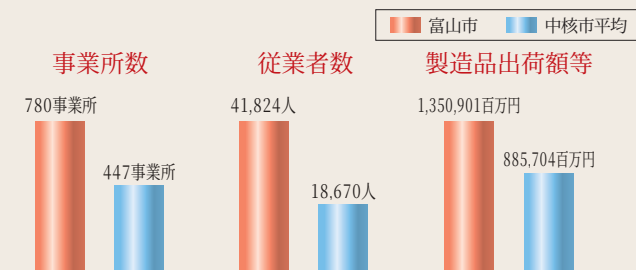
[卸売業] (令和3年)



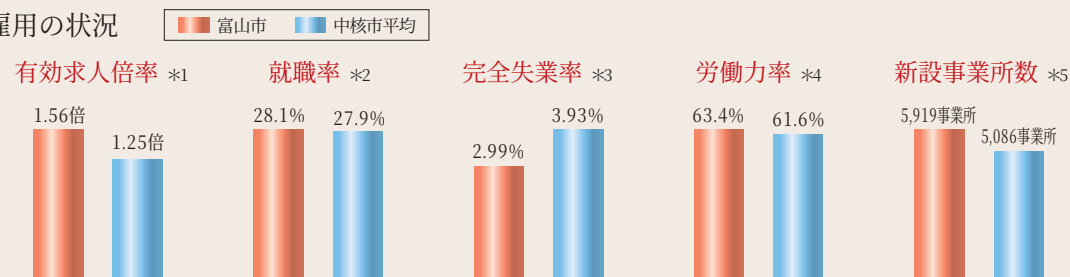
[小売業] (令和3年)

資料：総務省「経済センサス活動調査」
一般社団法人地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ」
(中核市平均は資料を元に富山市で算出)

工業(製造業)の状況 (令和3年、従業者4人以上の事業所)

資料：総務省「経済センサス活動調査」
一般社団法人地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ」
(中核市平均は資料を元に富山市で算出)

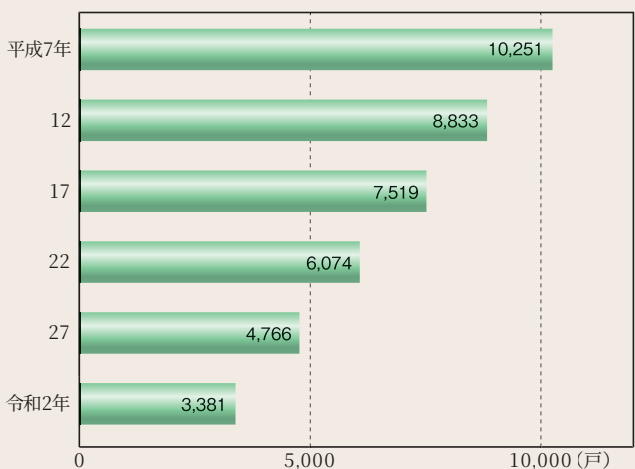
雇用の状況



資料：一般社団法人地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ」
 （中核市平均は資料を元に富山市で算出）
 *1、2…令和4年度
 *3、4…令和2年10月1日現在
 資料：総務省「経済センサス活動調査」
 *5…令和3年6月1日現在

農業・漁業の概要

販売農家数の推移



資料：農林水産省「世界農林業センサス」「農林業センサス」「農業センサス」

漁業種類別漁獲量 (令和5年) (kg)

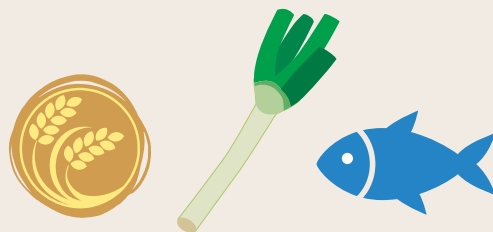
魚 種	漁獲量
いわし 類	728,785
しろえび	399,760
さば	344,037
ふくらぎ	156,317
いか 類	137,558
ほたるいか	129,705
あじ	91,272
かつお	90,987
たい	20,313
ぶり	9,668
かれい	7,764
ひらめ	5,017
その他	457,876
総 数	2,579,059

資料：農林水産部農業水産課

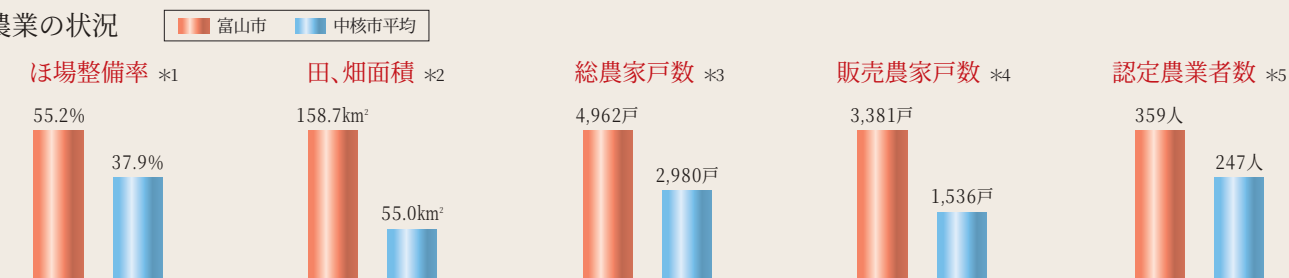
主要農産物の作付面積と収穫量 (令和5年) (ha,t)

	作付面積	収穫量
水 稲	7,400	38,600
六 条 大 麦	544	1,860
大 豆	795	700
野 菜		
秋冬ねぎ	22	233
夏秋トマト	25	640

資料：農林水産省「作物統計調査」



農業の状況



資料：一般社団法人地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ」
 （中核市平均は資料を元に富山市で算出）
 *1、5…令和5年3月31日現在
 *2…令和5年1月1日現在
 *3、4…令和2年2月1日現在

■ 運輸

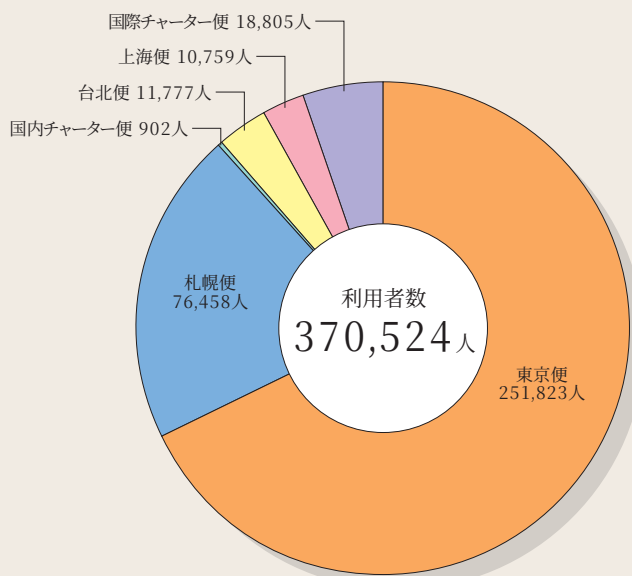
乗用車保有台数(令和5年度末現在) …279,628台
1世帯あたりの保有台数(令和5年度末現在) …1.5台

資料:富山運輸支局

(1世帯あたりの保有台数は資料を元に富山市で算出)



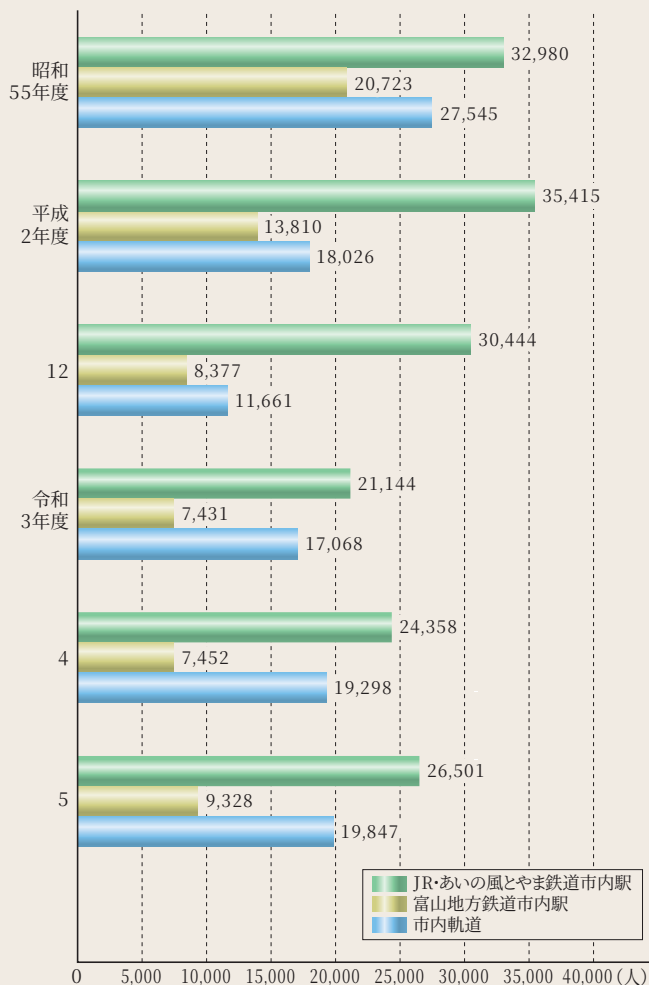
富山空港の利用状況(令和5年度)



※利用者数は(乗客+降客)数

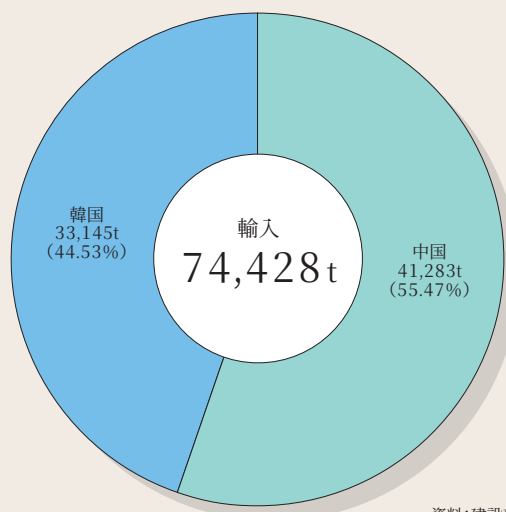
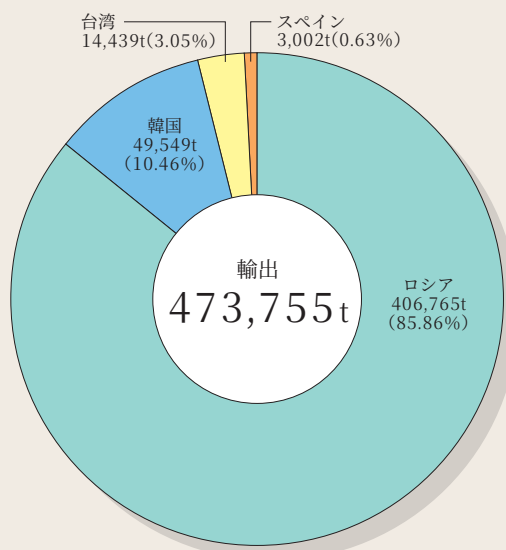
資料:富山空港管理事務所

公共交通機関の利用状況(1日平均利用者数)



資料:JR西日本金沢支社 あいの風とやま鉄道㈱ 富山地方鉄道㈱

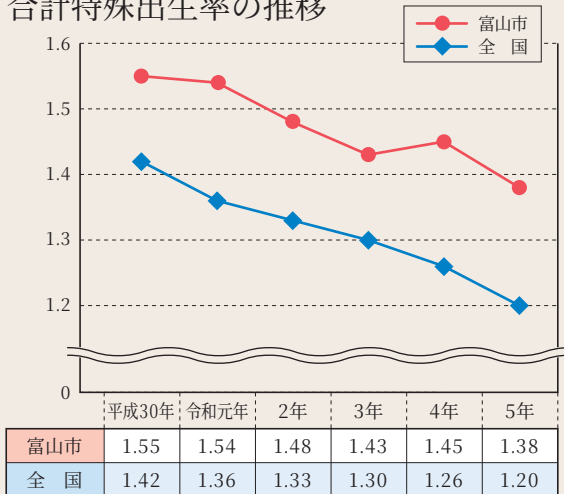
富山港の輸出入貨物量の相手国(令和5年)



資料:建設部建設政策課

■ 福祉・医療

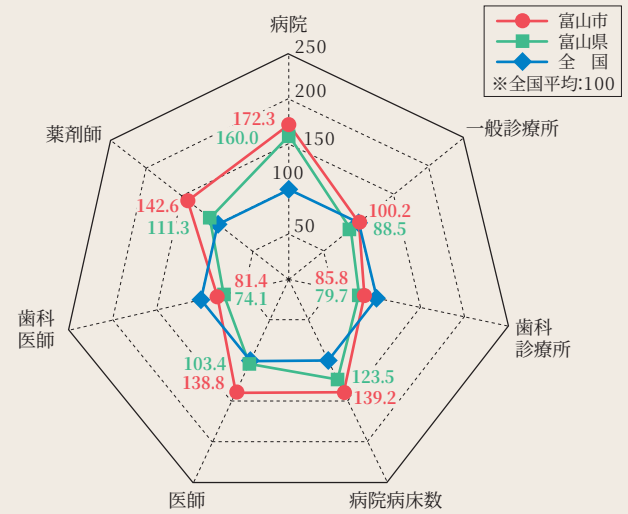
合計特殊出生率の推移



※合計特殊出生率：女性が一生の間に生む平均子供数を表す。

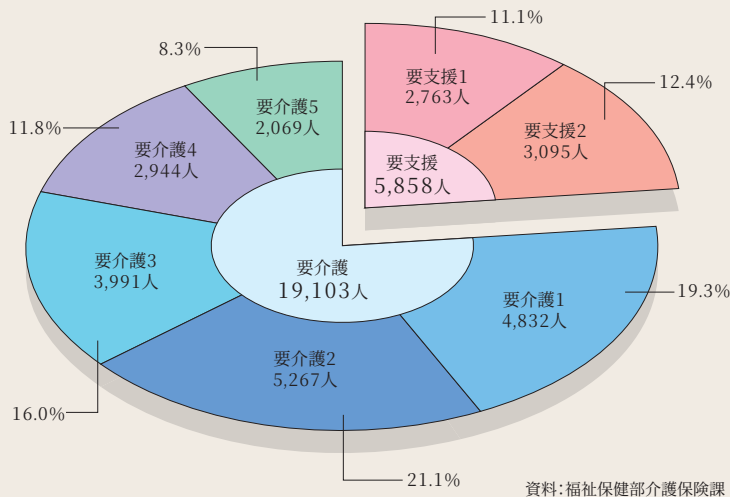
資料：厚生労働省「人口動態統計」(全国)
企画管理部企画調整課試算(富山市)

人口10万人あたりの医療体制(令和4年)



資料：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

介護認定件数(令和6年3月末)



資料：福祉保健部介護保険課

生活保護状況

(令和5年4月) (人,%,世帯)

	被保護人員		被保護世帯
	保護率		
富山市	2,636	6.5	2,257
中核市平均	6,431	17.9	5,252

資料：中核市市長会「都市要覧」

地域包括支援センターの設置状況

(令和5年4月1日現在) (人,箇所)

	介護保険第1号被保険者数	地域包括支援センター箇所数	一包括あたりの高齢者人口
富山市	122,484	32	3,828
中核市平均	101,844	15	9,085

資料：中核市市長会「都市要覧」
(中核市平均(一包括あたりの高齢者人口)は資料を元に富山市で算出)

保育施設の状況(令和5年4月1日現在)

保育所

(箇所,人)

	市立			市立以外		
	箇所数	定員	入所者数	箇所数	定員	入所者数
富山市	34	2,715	2,148	1	165	163
中核市平均	17	1,841	1,453	37	3,349	3,154

認定こども園

(箇所,人)

	市立			市立以外		
	箇所数	定員	入所者数	箇所数	定員	入所者数
富山市	2	479	372	70	11,383	9,336
中核市平均	7	895	674	33	4,661	4,051

資料：中核市市長会「都市要覧」

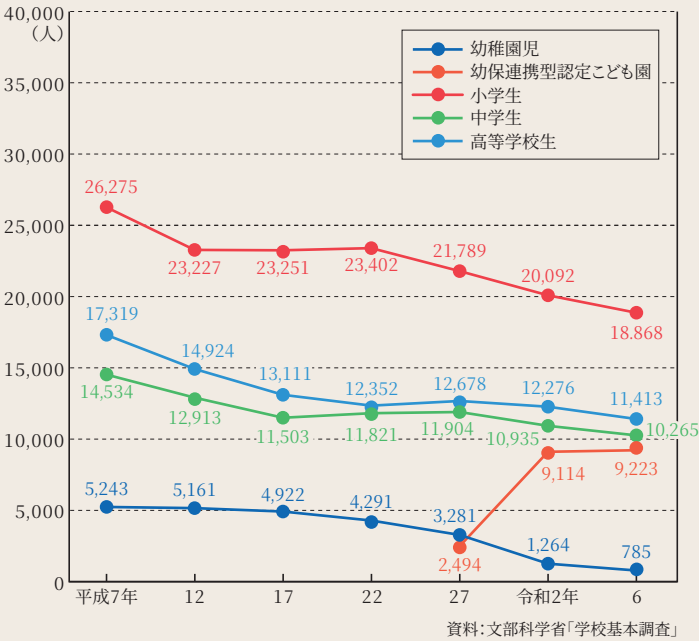
地域型保育事業

(箇所,人)

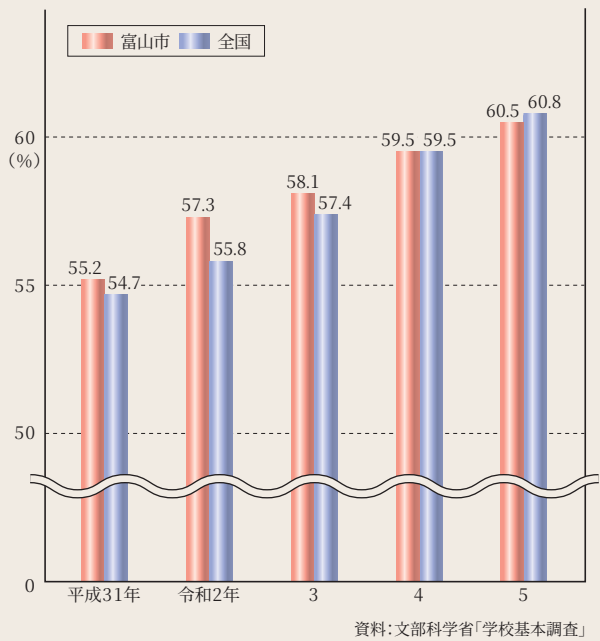
	市立以外		
	箇所数	定員	入所者数
富山市	11	247	114
中核市平均	22	367	298

■ 教育・文化

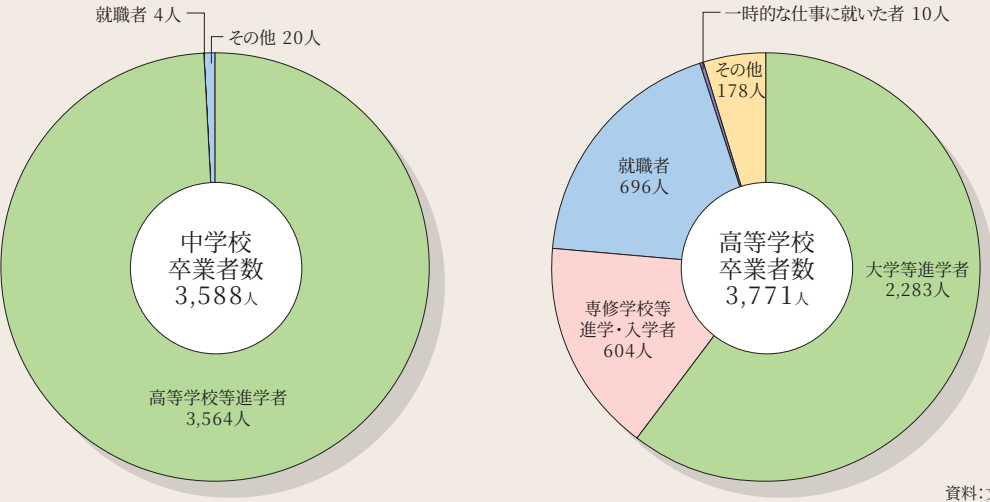
児童数・生徒数の推移(各年5月1日現在)



大学等進学率



卒業者の進路状況(令和5年3月卒業者)



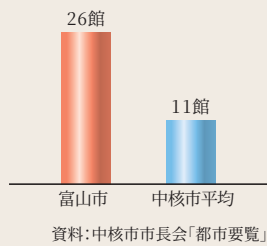
富山市立図書館概況(令和5年度)

蔵書数……………1,032,770冊
貸出図書……………1,688,661冊

資料:富山市立図書館



博物館数(令和5年度)



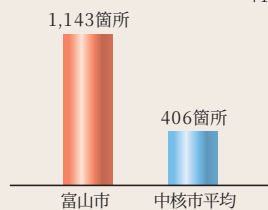
体育施設概況(令和5年度)

	施設数	利用者数(箇所,人)
体育館	13	866,926
野球場	2	113,808
錬成館	2	16,150
庭球場	14	70,085
運動場	15	72,294
プール	7	263,980
その他施設	10	184,593

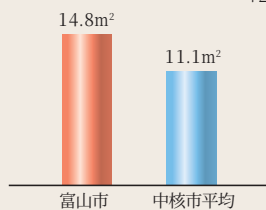
資料:市民生活部スポーツ健康課

■ 環境

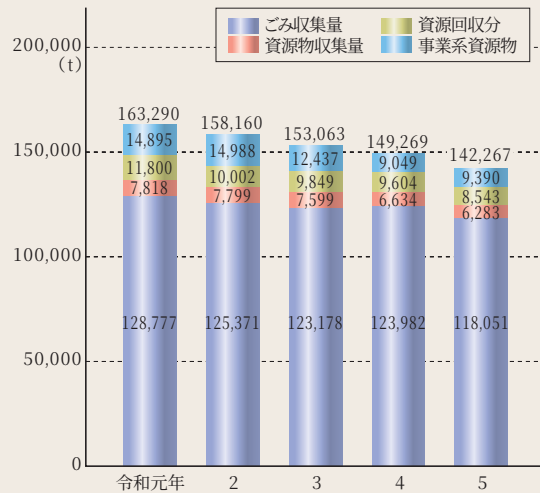
都市公園数(令和5年4月1日現在)
*1



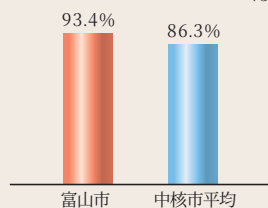
一人あたりの公園面積(令和5年4月1日現在)
*2



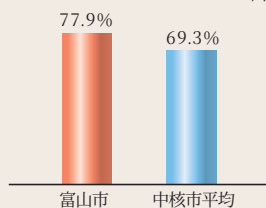
ごみ総排出量(一般廃棄物)



下水道普及率(令和4年度)
*3



市道改良率(令和5年4月1日現在)
*4



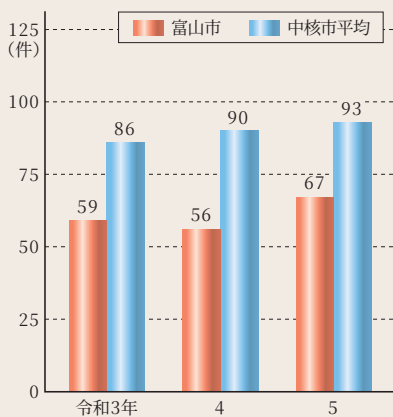
*1、2、3…資料:中核市市長会「都市要覧」

*4 ……資料:一般社団法人地方行政調査会「中核市の行政水準に関する調べ」
(数値は資料を元に富山市で算出)

資料:環境部環境センター管理課
※災害ごみを除く

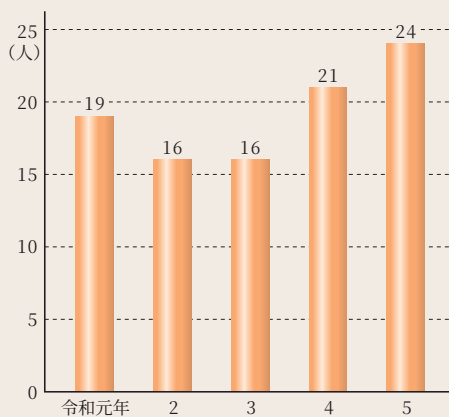
■ 災害と安全

火災件数



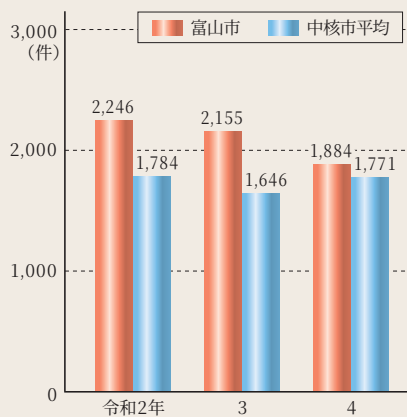
資料:中核市市長会「都市要覧」

火災における人的損害(死傷者数)の状況



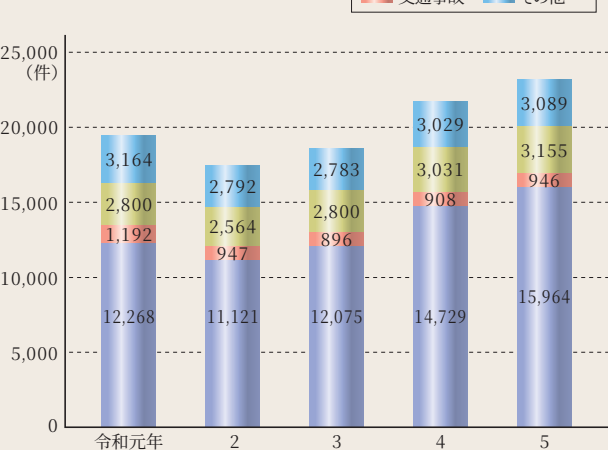
資料:富山市消防局

刑法犯認知件数



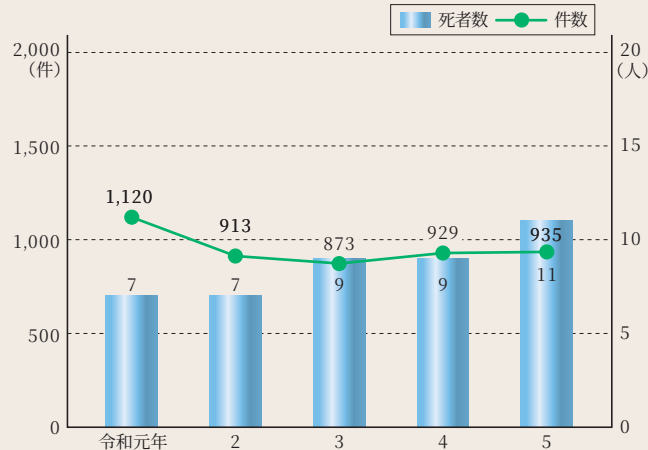
資料:一般社団法人地方行政調査会
「中核市の行政水準に関する調べ」
(数値は資料を元に富山市で算出)

救急車出場件数の推移



資料:富山市消防局

交通人身事故発生件数と死者数

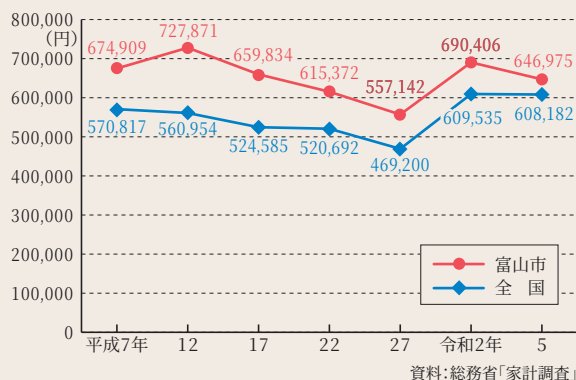


資料:富山県警察本部

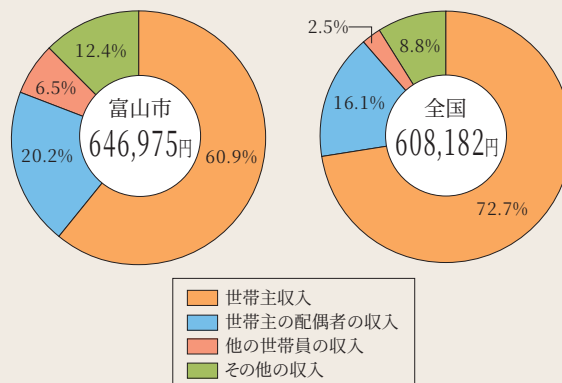
■ くらし

1世帯あたり年平均1か月間の実収入の推移

(2人以上の世帯のうち勤労者世帯)

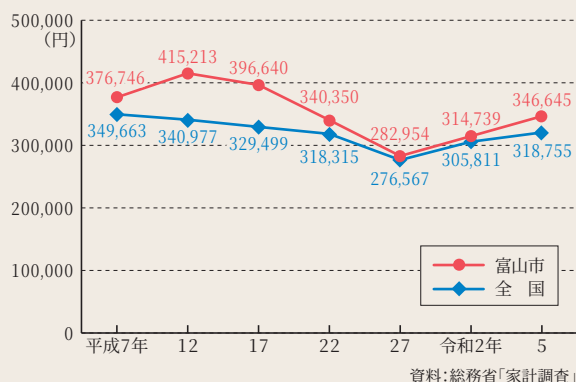


実収入の内訳(令和5年)

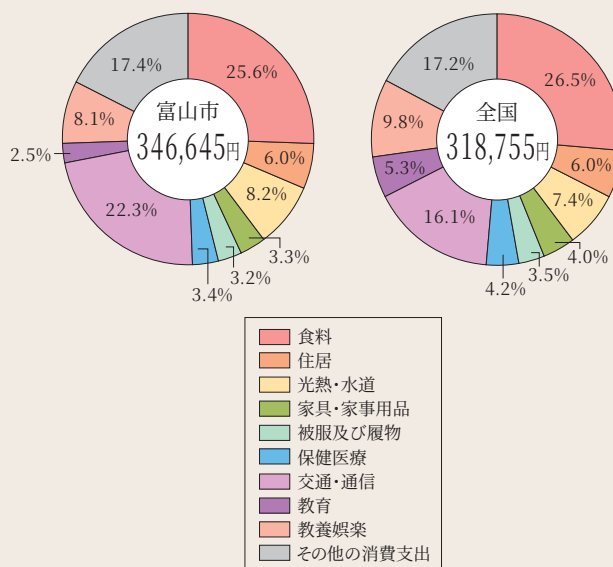


1世帯あたり年平均1か月間の消費支出の推移

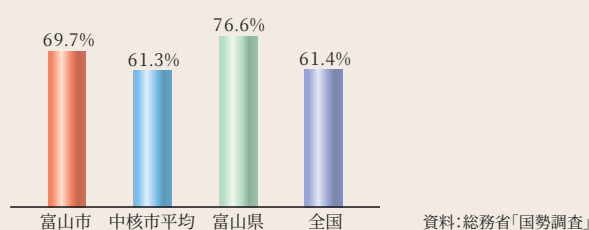
(2人以上の世帯のうち勤労者世帯)



消費支出の内訳(令和5年)

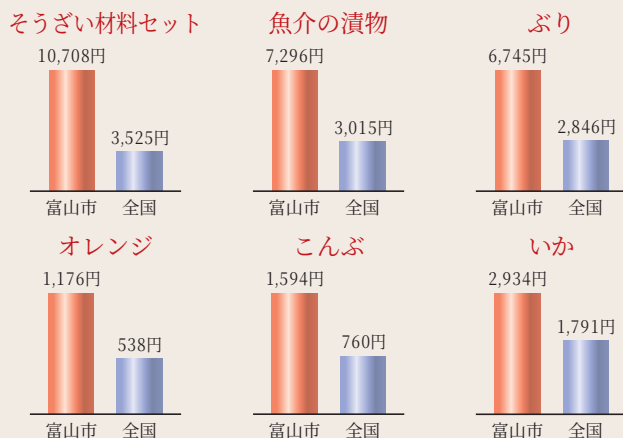


持ち家率(令和2年)

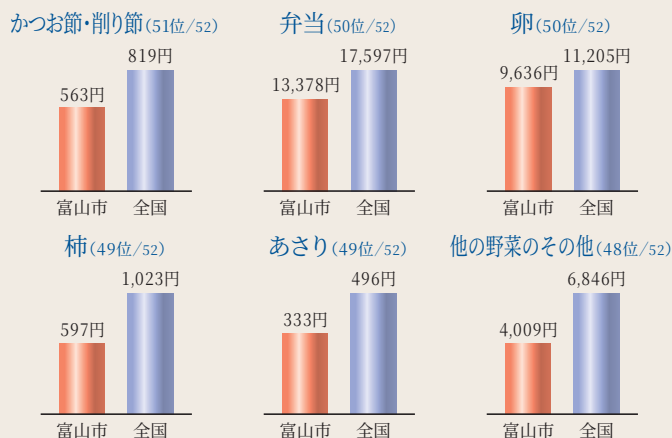


1世帯あたり年間品目別支出金額(令和3～令和5年平均、2人以上の世帯、都道府県庁所在市及び政令指定都市)

富山市が第1位の購入品目



富山市が下位の購入品目



資料:総務省「家計調査」



富山市ホームページ
<https://www.city.toyama.lg.jp>



富山市LINE公式アカウント



富山市プロモーション映像
「AMAZING TOYAMA ～この地を選んだ理由～」
<https://youtu.be/R8br2bXAtcY>



編集・発行／富山市
〒930-8510 富山県富山市新桜町7番38号
TEL 076-431-6111



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用し、「水なし印刷」を採用しています。